

令和4年度観光地域動向調査事業
「糸魚川市のアウトドア（サイクル・キャンプ）ツーリズム動向調査」

業務報告書

令和5年2月

国土交通省北陸信越運輸局

（受託者：ケー・シー・エス北陸支社）

【目 次】

1. 業務概要.....	2
・ 業務の目的	2
・ ▢ 業務の概要	2
・ ▣ 業務項目	2
・ ▤ 業務の実施方針等	3
2. 業務内容.....	5
・ 観光関連既存資料・データの基礎整理.....	5
3. サイクルモデルルート造成のための現地調査及び検討会開催	37
・ モデルルートの検討	37
・ ▢ 現地調査の実施	48
・ ▣ 検討会の開催	82
4. サイクルツアー・視察及びワークショップの開催	90
・ サイクルツアー・視察の実施	90
・ ▢ ワークショップの開催	99
5. 報告会の開催.....	102
・ 開催概要	102
・ ▢ 議事概要	105
6. まとめ.....	106

1. 業務概要

1-1 業務の目的

新潟県糸魚川市は、市内全域がユネスコ世界ジオパークに認定されており、市域内に国立公園が2つ（中部山岳国立公園、妙高戸隠連山国立公園）存在するなど、自然あふれる都市です。また、平成27年3月には、北陸新幹線・糸魚川駅が開業し、東京をはじめとする他都市からのアクセスも飛躍的に向上しました。

糸魚川市～上越市には、えちごトキめき鉄道の日本海ひすいラインと並行して、旧国鉄北陸本線の線路跡を活用した久比岐自転車道（全長約32km）があり、日本海の美しい風景を楽しむことができ、北陸新幹線糸魚川駅を利用したサイクリストも増加傾向です。また、市内には美山キャンプ場、高浪の池キャンプ場、荒崎キャンプ場など、糸魚川ユネスコ世界ジオパークの自然を体感できるキャンプ場が存在し、コロナ禍におけるアウトドアブームもあり、近年利用者数が増加しています。隣接する長野県白馬村には豪州のアクティビティ来訪者が顕在していることからグリーンシーズン期等における体験コンテンツ活用が期待されます。

本事業は、新潟県糸魚川市のアクティビティ来訪者向けの体験コンテンツ造成に向け、ジオサイトや久比岐自転車道、点在するキャンプ場の回遊性を持たせたサイクルモデルルートの作成及び課題分析調査を行い、受入環境整備や情報発信に繋げることを目的とします。

1-2 業務の概要

本業務の概要は以下の通りです。

業 務 名：令和4年度観光地域動向調査事業

「糸魚川市のアウトドア（サイクル・キャンプ）ツーリズム動向調査」

業務委託料：1,498,827円（うち消費税及び地方消費税の額136,257円）

業務対象地域：新潟県糸魚川市

エ 期：令和4年8月15日～令和5年2月28日

発 注 者：国土交通省 北陸信越運輸局 観光部観光地域振興課

受 注 者：株式会社ケー・シー・エス北陸支社

1-3 業務項目

本業務の業務項目は以下の通りです。

0. 計画準備

1. 観光関連既存資料・データの基礎整理
2. サイクルモデルルート造成のための現地調査及び検討会の開催
3. サイクルツアー・視察及びワークショップの開催
4. 報告会の開催
5. 報告書の作成
6. 打合せ協議

1-4 業務の実施方針等

1-4-1 業務実施方針

業務の目的などを踏まえて、本業務は以下の方針に従って実施します。

基本方針

本業務の目的及び実施地域の観光資源の現状を踏まえ、主たるターゲットを「サイクリングを観光コンテンツ（アミューズメント）の一つとして捉えている層」と定め、サイクルツーリズムの可能性調査を通じ、次年度以降の具体的取組みに繋がるよう業務を遂行します。

ポイント①

統計調査等の整理は「効果検証」と「目標設定」に活用すると想定し、定量的・定性的双方の結果を踏まえて、**コロナ禍による影響も加味した今後の傾向を予測**します。

ポイント②

現地調査は、後述するサイクリング有識者による助言及び本事業で想定される**ターゲットの嗜好を考慮した上で、調査の視点（項目）を設定**して実施します。

また、現地調査結果を基に、**モデルルートを複数検討し、有識者を交えた検討会において、モデルルートを決定**します。

ポイント③

サイクルツアーでは、**サイクリングの視点から有識者 1 名、ツーリズムの視点から在日外国人モニター 1 名の計 2 名を招聘**して実施します。

地域関係者も自転車で行くことを基本とし、**休憩や食事の際にも意見交換できる雰囲気づくり**を行います。

新型コロナウイルス感染対策

国・自治体の方針等に従い、業種別ガイドラインや厚生労働省が推奨する「一般的な感染対策」を基本とした感染防止策に最大限努めます。このため、オンライン会議などの ICT 技術を活用した非接触対応も活用します。

1-4-2 業務フロー

本業務は、以下のフローに沿って実施します。



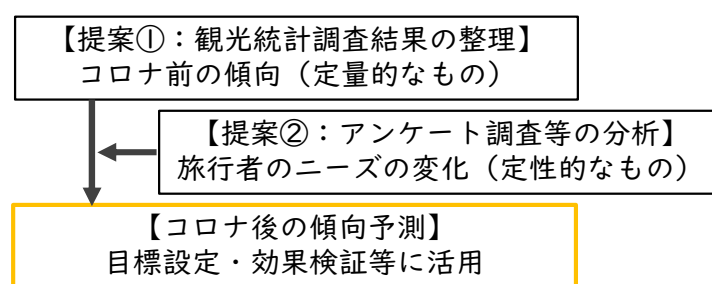
2. 業務内容

2-1 観光関連既存資料・データの基礎整理

2-1-1 目的

統計データの活用は主に、事業前後の比較による「効果検証」や「目標設定」にあると考えられます。

一方、コロナ禍により、旅行者のニーズは大きく変化していると考えられ、既存観光統計等の傾向が今後の動向に繋がるとは限りません。そのため、これら数値はコロナ前の「参考数値」（定量的なもの）とし、コロナ禍による旅行者のニーズの変化を別途アンケート調査（定性的なもの）から把握し、これら両者の傾向から、今後の傾向を予測しました。



2-1-2 観光統計調査（定量的な整理）

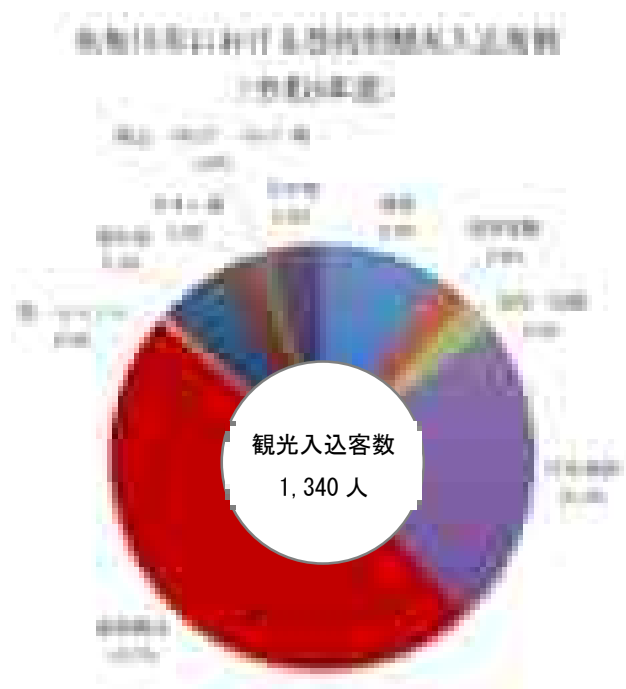
（1） 調査概要

目 的	事業の効果検証のため、現状について定量的な数値を把握する。
手 法	既往統計調査結果の整理及び分析
活用した統計調査	①系魚川市観光白書（観光入込客数、宿泊客数） ②RESAS（地域経済分析システム） *なお、各統計調査について、2020年以降は新型コロナウイルス感染拡大により調査中止または統計学上有意な結果が得られるとは考えづらいため、2017～2019年の結果を基本に整理・分析しました。

(2) 糸魚川市観光統計

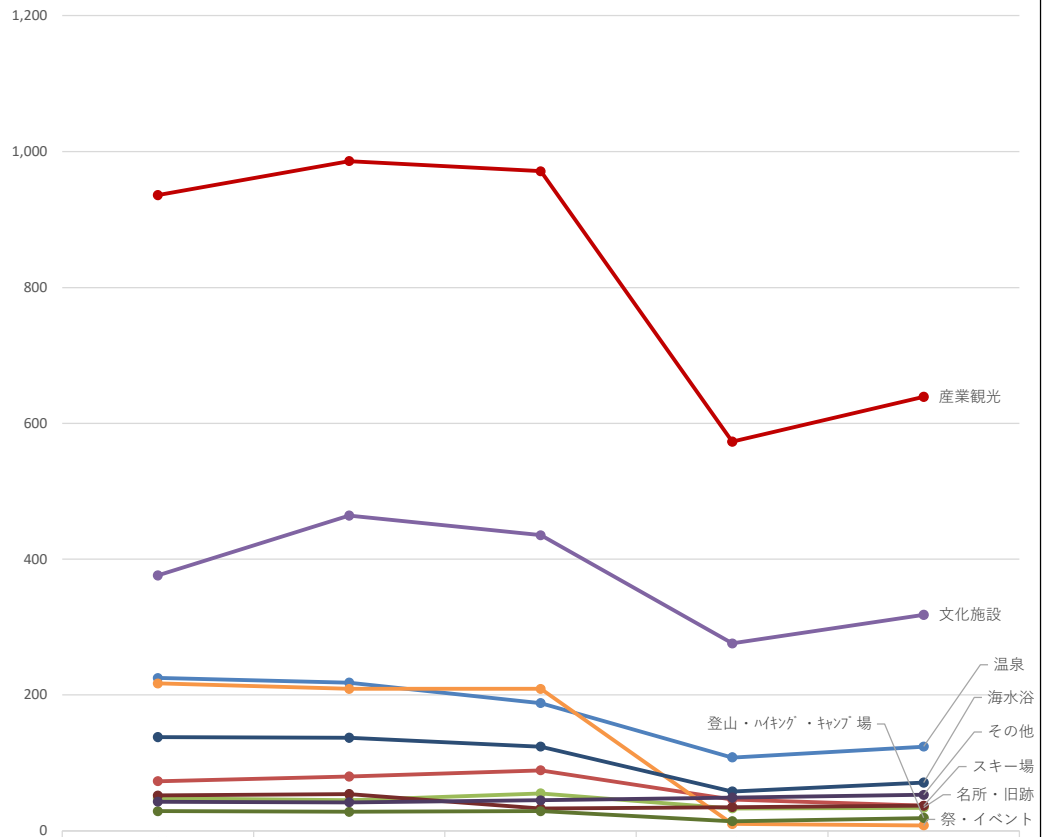
①観光入込客数

- ◆糸魚川市の観光入込客数は、新型コロナウイルスの影響により令和2年に大幅に減少したものの近年は増加傾向に転じつつあります。
- ◆目的別では最も多いのは「産業観光」、次いで「文化施設」であり、この傾向は新型コロナウイルス発生前後も変わっていません。
- ◆主要施設では、「道の駅マリンドリーム」の入込客数が最も多く、キャンプ場では、「須沢オートキャンプ場」の入込客数の伸びが顕著です。

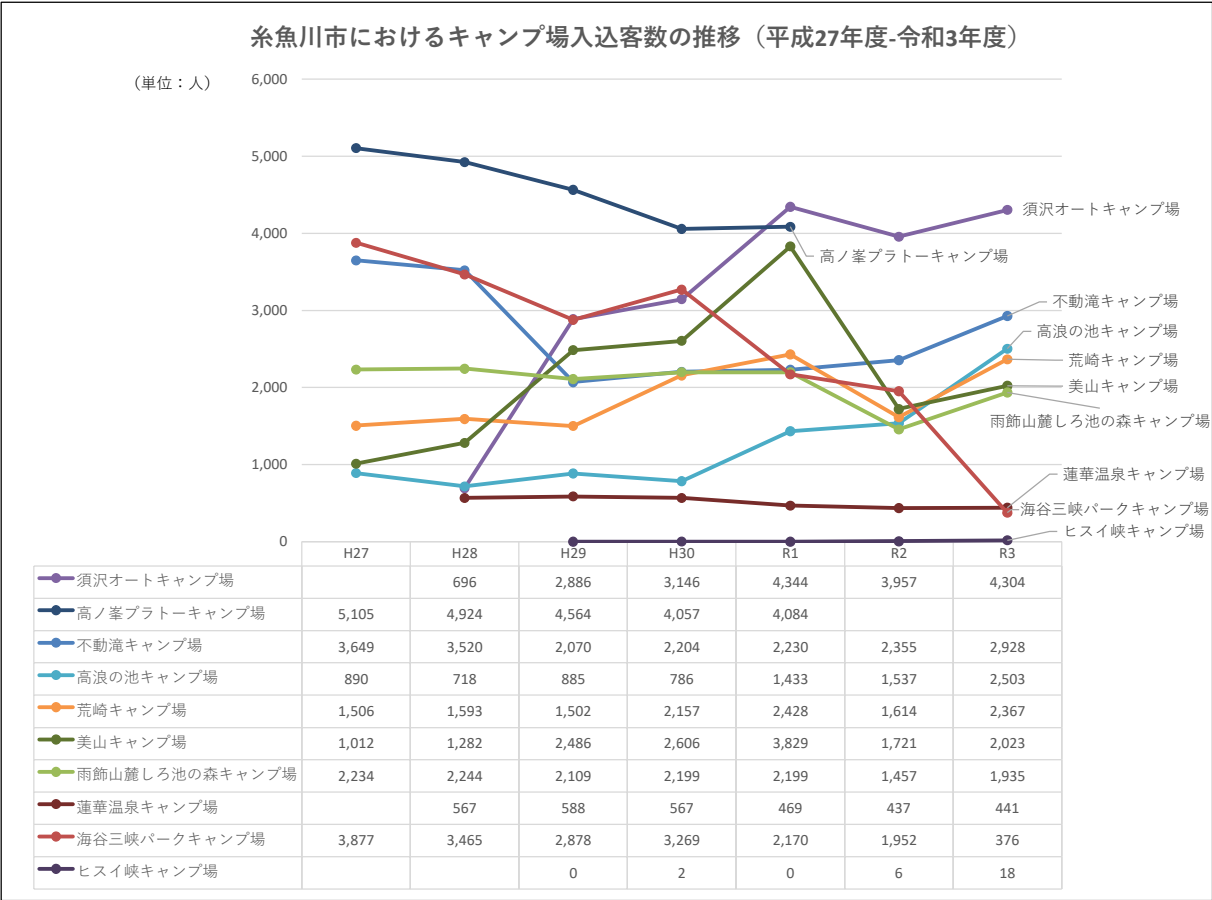
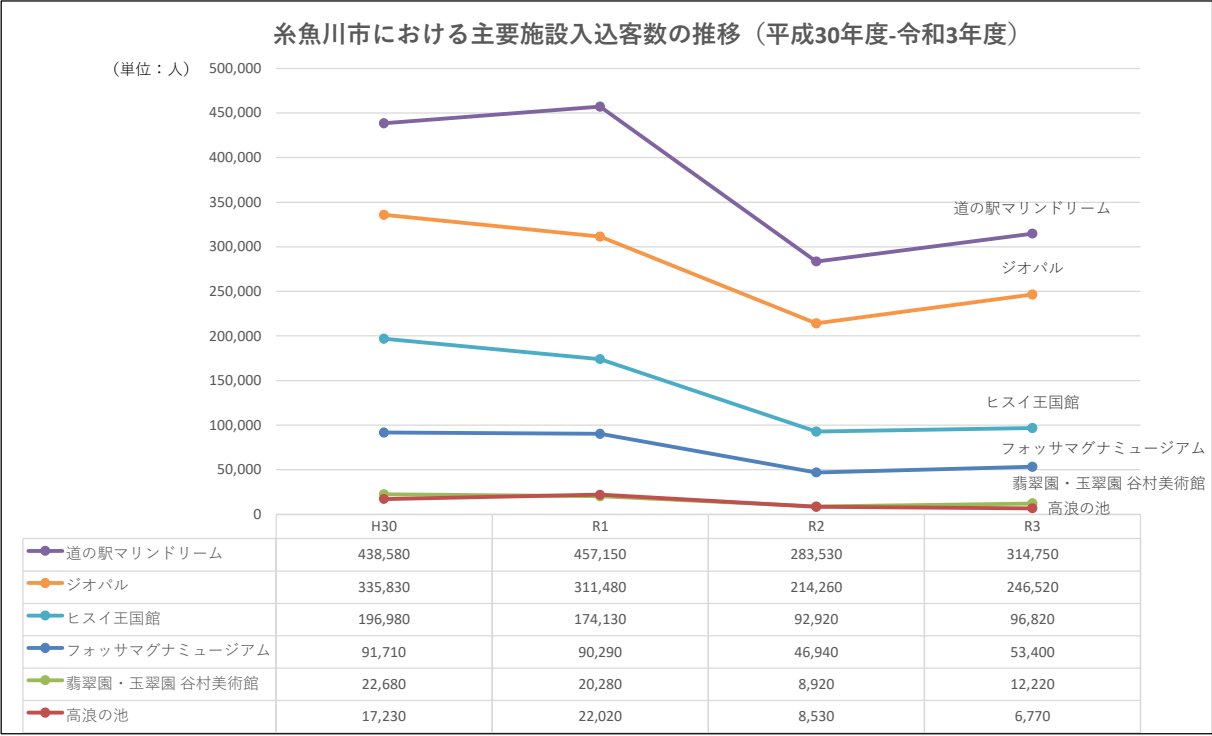


糸魚川市における目的別観光入込客数の推移（平成29年度-令和3年度）

（単位：人）



	H29	H30	R1	R2	R3
温泉	225	218	188	108	124
自然景観	73	80	89	46	37
名所・旧跡	48	45	55	33	34
文化施設	376	464	435	276	318
産業観光	936	986	971	573	639
祭・イベント	217	209	209	10	8
海水浴	138	137	124	58	71
スキー場	52	54	33	35	37
登山・ハイキング・キャンプ場	29	28	29	14	19
その他	43	42	45	49	53
合計	2,137	2,263	2,178	1,202	1,340

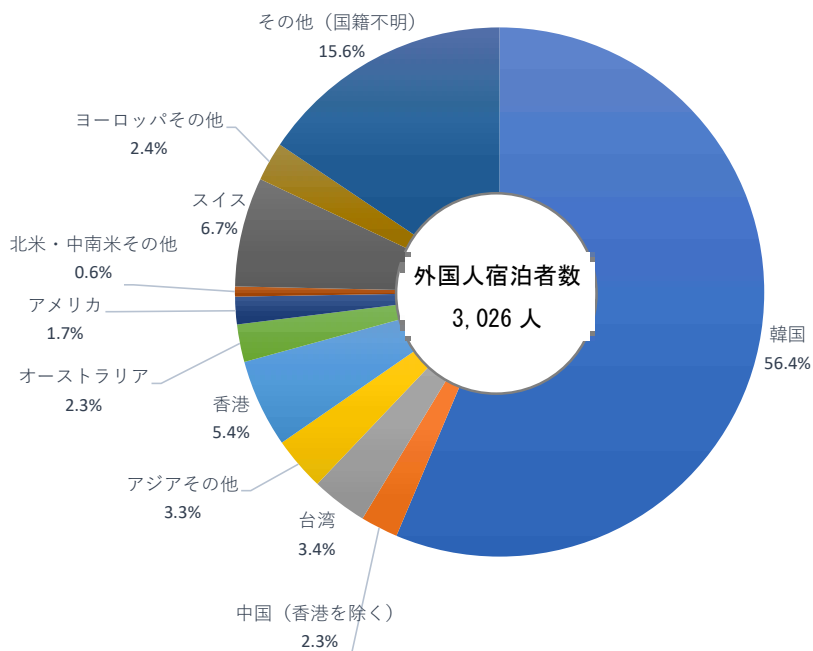


②外国人宿泊者数

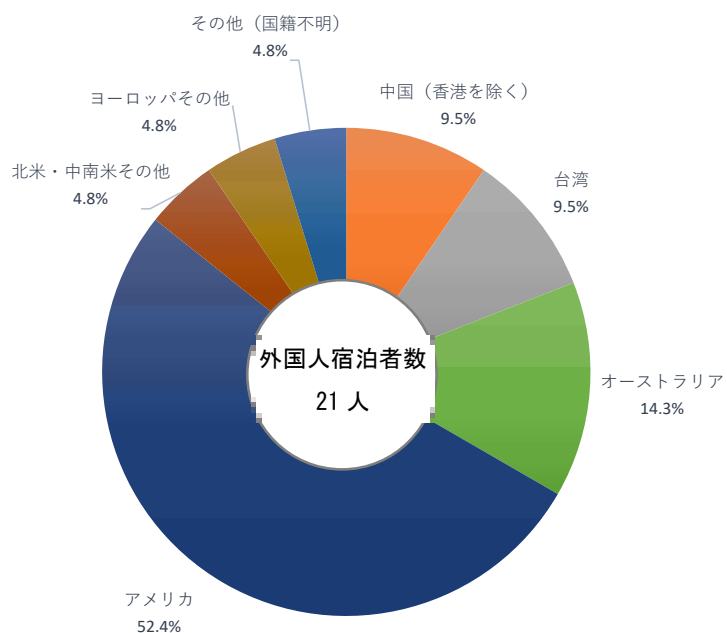
◆平成30年度（新型コロナウイルス発生前）の外国人宿泊者は、韓国が半数以上、次いでスイスが多いですが、新型コロナウイルス発生後は、入国制限等の対策により宿泊者数は大幅に減少しています。

◆令和2年度ではアジアその他、令和3年度ではアメリカからの宿泊者が若干みられます。

糸魚川市における外国人宿泊者数入込割合（平成30年度）

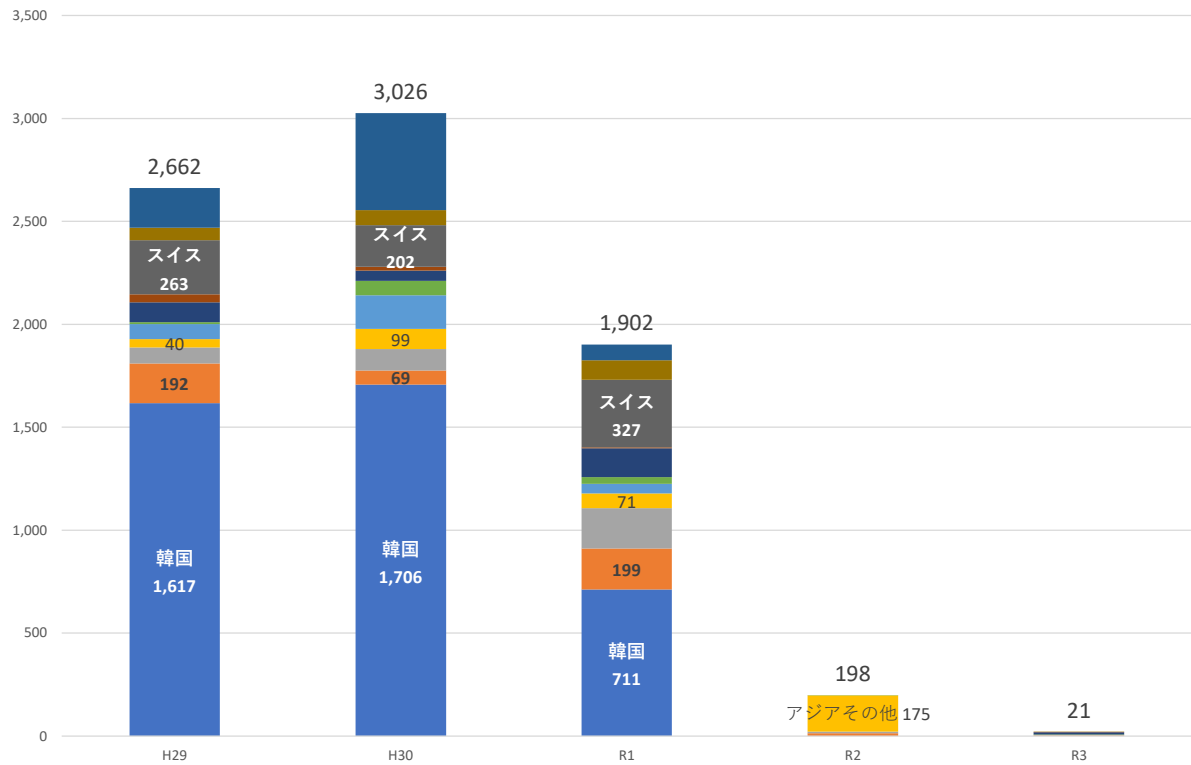


糸魚川市における外国人宿泊者数入込割合（令和3年度）



(単位：人)

糸魚川市における国・地域別外国人宿泊者数の推移（平成29年度-令和3年度）



	H29	H30	R1	R2	R3
韓国	1,617	1,706	711	0	0
中国（香港を除く）	192	69	199	14	2
台湾	78	104	196	7	2
アジアその他	40	99	71	175	0
香港	74	163	48	0	0
オーストラリア	9	69	32	2	3
アメリカ	96	51	140	0	11
北米・中南米その他	39	19	6	0	1
スイス	263	202	327	0	0
ヨーロッパその他	61	72	95	0	1
その他（国籍不明）	193	472	77	0	1
合計	2,662	3,026	1,902	198	21

(3) RESAS（地域経済分析システム）

◆糸魚川市への居住都道府県別宿泊者数では、平成 30 年（新型コロナウイルス発生前）は、東京都が最も多いですが、新型コロナウイルス発生後では感染症対策等により県外からの宿泊者数は減少し、新潟県が最も多くなっているものの、令和 3 年では県外も増加傾向に転じています。



図 居住都道府県別糸魚川市の延べ宿泊者数（日本人）の構成割合（左：平成 30 年・右：令和 3 年）

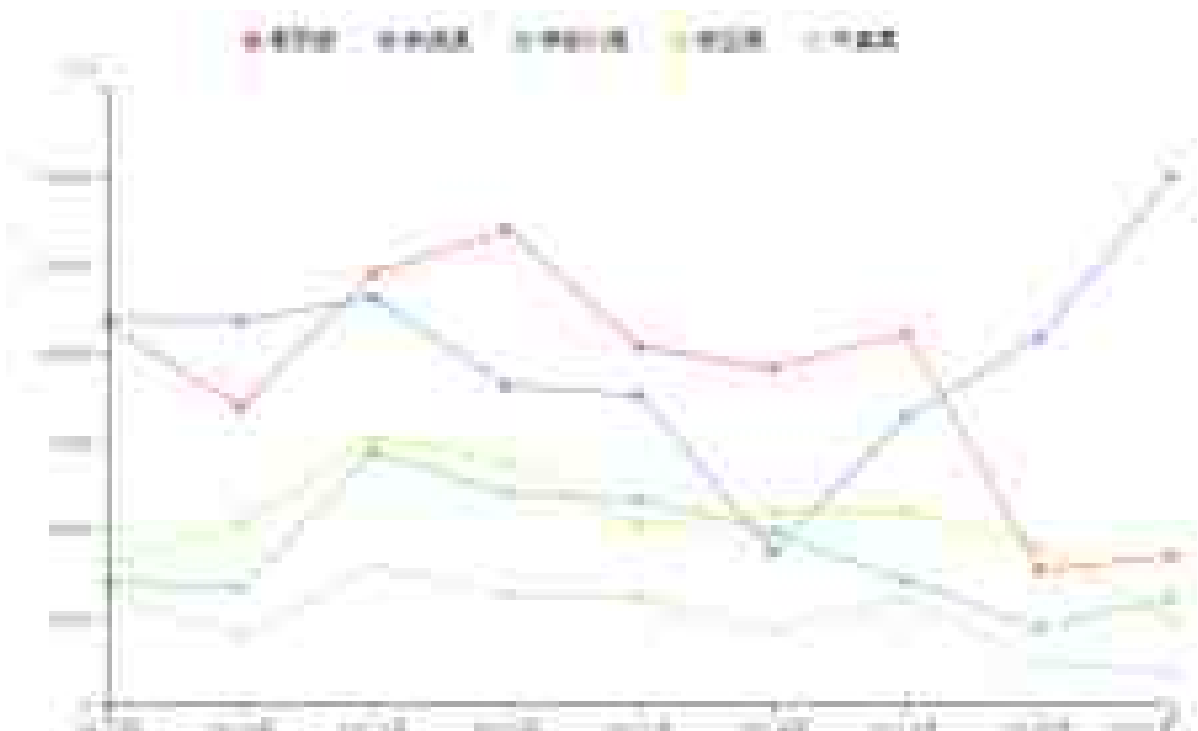


図 居住都道府県別糸魚川市の延べ宿泊者数（日本人）の推移

2-1-3 アンケート調査（定性的な整理）

（１） 調査概要

目 的	コロナ禍により旅行者のニーズには大きな変化があったものと推測されます。ただし、このような変化は、直近の統計調査に反映されていないことが予想されるため、アンケート調査結果を分析・実施しました。
手 法	アンケート調査結果の分析・実施
活用（実施）した アンケート調査	（国内市場）サイクリスト国勢調査 （海外市場）弊社が保有する外国人ネットワークを通じた、外国人アンケート調査

(2) サイクリスト国勢調査

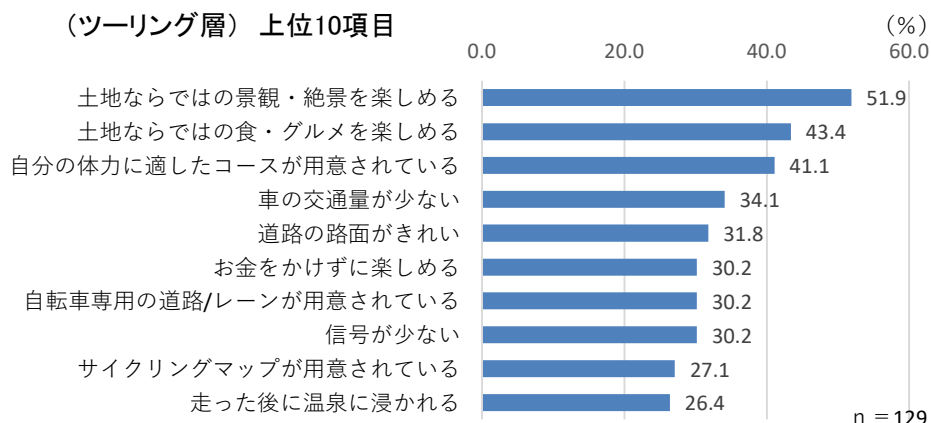
- ◆サイクルツーリズム市場の経験人数は減少しているものの、市場構成比率の多い「日常の移動手段層」の1人あたりの「消費額」が増加しているため、全体での出費は増加しています。
- ◆特にツーリング層については、「経験人数」と1人あたりの「消費額」がともに増加しているため、層全体での出費額は最も多く増加しています。
- ◆また、ツーリング層における「サイクルツーリズムで訪れる地域を選ぶ際に重視すること」については、「土地ならではの景観・絶景を楽しめる」が最も多く、「自転車専用の道路／レーンが用意されている」等も上位にあがっていることから、糸魚川ユネスコ世界ジオパーク、久比岐自動車道を有する糸魚川市では、今後事業を進めるにあたり「ツーリング層」がターゲットのひとつと考えられます。

表 直近1年のサイクルツーリズム参加人数と消費額

調査年	セグメント	直近1年以内のサイクルツーリズム経験人数	ツーリズム関連の出費 /月金額推計	サイクルツーリズム経験人数×ツーリズム関連の出費/月
令和3年 (2021)	日常の移動手段	8,904,062	10,560	94,028,609,363
	健康エクササイズ層	898,833	13,130	11,801,450,242
	旅行・レジャー手段層	767,753	13,037	10,008,869,444
	ツーリング層	514,956	11,577	5,961,684,189
	サイクリングイベント層	374,514	15,808	5,920,188,987
	レース層	234,071	16,369	3,831,444,234
	合計	11,694,189	80,480	131,552,246,458
平成30年 (2018)	日常の移動手段	10,691,296	8,657	92,552,818,416
	健康エクササイズ層	1,001,724	10,469	10,486,766,855
	旅行・レジャー手段層	786,400	13,348	10,496,855,610
	ツーリング層	402,562	10,953	4,409,389,648
	サイクリングイベント層	205,962	22,172	4,566,491,157
	レース層	168,514	18,793	3,166,822,061
	合計	13,256,458	84,391	125,679,143,746
差	日常の移動手段	-1,787,234	1,903	1,475,790,947
	健康エクササイズ層	-102,891	2,661	1,314,683,387
	旅行・レジャー手段層	-18,647	-311	-487,986,166
	ツーリング層	112,394	624	1,552,294,541
	サイクリングイベント層	168,552	-6,364	1,353,697,830
	レース層	65,557	-2,424	664,622,173
	合計	-1,562,269	-3,911	5,873,102,713

サイクルツーリズムで訪れる地域を選ぶ際に重視すること

(ツーリング層) 上位10項目



n = 129

(3) 外国人アンケート調査

①調査概要

目 的	外国人目線で見たとジオパークとサイクリングの組合せについて、訴求可能性と具体的にどのような点に魅力を感じるか把握することを目的に、また、コロナ禍においてアウトドアツーリズムに対し、どのようなニーズの変化があったか把握するために実施しました。
手 法	WEB アンケート調査（WEB フォームをメール送付し、回答を入力してもらいました。）
調査対象 及びサンプル数	調査対象：弊社が有する外国人ネットワーク（国籍数 32） サンプル数：69 名
設 問	【設問数】13 問 【内容】次頁以降の調査ページ画面を参照 【言語】日本語及び英語

②調査票

アウトドアツーリズムに関するアンケート調査

Questionnaire survey on outdoor tourism

株式会社ケーシーエスが実施するアンケート調査です。
This is a questionnaire survey conducted by KCS Co., Ltd.
自由記入欄は、日本語か英語（アルファベット）で回答してください。
Please answer in Japanese or English (alphabet) for the free entry part.

1. 性別

○ 男性 (Male) ○ 女性 (Female)

2. 年齢 (Age)

○ 10代 (10s) ○ 20代 (20s)

○ 30代 (30s) ○ 40代 (40s)

○ 50代 (50s) ○ 60代 (60s)

○ 70代 (70s) ○ 80代 (80s)

○ 90代 (90s) ○ その他 (Others)

3. 年収 (Annual Income)

○ 100万円未満 (Below 1,000,000)

○ 100万円～199万円 (1,000,000 - 1,999,999)

○ 200万円～299万円 (2,000,000 - 2,999,999)

○ 300万円～399万円 (3,000,000 - 3,999,999)

○ 400万円～499万円 (4,000,000 - 4,999,999)

○ 500万円～599万円 (5,000,000 - 5,999,999)

○ 600万円～699万円 (6,000,000 - 6,999,999)

○ 700万円～799万円 (7,000,000 - 7,999,999)

○ 800万円～899万円 (8,000,000 - 8,999,999)

○ 900万円～999万円 (9,000,000 - 9,999,999)

○ 1,000万円以上 (10,000,000 or more)

○ その他 (Others)

4. 旅行先で最も楽しんでいる活動はどれですか？（複数選択可）
 What is/are the most enjoyable activity/activities you are doing? *

- ☐ 温泉が楽しめる (I can enjoy hot spring)
- ☐ 温泉が飲める (I can drink hot spring)
- ☐ 旅行先は温泉地である (I am visiting a hot spring area)
- ☐ 温泉が楽しめる (I can enjoy hot spring)
- ☐ 温泉が飲める (I can drink hot spring)
- ☐ トレーキング・ハイキングが楽しめる (I enjoy trekking and hiking)
- ☐ 自然景観が楽しめる (I enjoy the natural scenery)
- ☐ 買い物ができる (I enjoy shopping)
- ☐ 伝統文化が体験できる (I experience traditional culture)
- ☐ 印象的な写真が撮れる (I take impressive photos)
- ☐ 温泉地である (I am in a hot spring area)
- ☐ 鉄道、バス、タクシーなどの公共交通機関が充実している (Well-equipped public transportation such as trains, buses, and taxis)
- ☐ その他

4. 宿泊先は、どのような宿泊施設に宿泊しますか？
 What type of place would you stay (where)? *

- ☐ 温泉旅館 (hot spring inn)
- ☐ 温泉ホテル (hot spring hotel)
- ☐ 温泉リゾート (hot spring resort)
- ☐ 温泉宿 (hot spring house)
- ☐ その他 (other place)

6. 旅行先で自転車に乗りまわすか。

Do you ride a bicycle wherever you go?

- ☐ はい、どこへ行くに (I always)
- ☐ 大抵行先で (I go almost)
- ☐ ほとんど乗らない (I never)

7. 自転車に乗るのを覚えていますか。

Do you know how to ride a bicycle?

- ☐ 覚えておらず、覚える必要は (I never know)
- ☐ 覚えておらず、覚える必要は (I never know)
- ☐ 覚えておらず (I never know)

8. 自転車に乗るの面白さや楽しさを感じることがありますか。(複数回答可)

What do you think is the pleasure of riding a bicycle?
(You can choose several answers.)

- ☐ 風景 (scenery)
- ☐ 好きなところに手軽に立ち寄れる (you can easily stop by whenever you like)
- ☐ 免許なしでも乗れる (You can ride without a license)
- ☐ 安く自由に移動できる (cheap and free to move)
- ☐ 目的地に着いたときの達成感 (A sense of accomplishment when you reach your destination)

8. 以下のうち、ドイツ語で「政府」を意味する単語はどれですか？

- ☐ A. 政府 (Government)
- ☐ B. 議会 (Parliament, Bundestag) (ドイツ連邦議会の正式名称は Bundestag)
- ☐ C. 裁判所 (Courts)

9. 以下のうち、ドイツ語で「環境保護」を意味する単語はどれですか？ (複数選択可)

Which kind of things would you like to experience at the festival?
(Multiple answers allowed)

- 回答: <https://www.kommunales.de/umwelt>
reference: <https://www.kommunales.de/umwelt>
- ☐ A. 環境保護 (Umwelt) (Environment)
 - ☐ B. 自然 (Natur) (Nature)
 - ☐ C. 文化 (Kultur) (Culture)
 - ☐ D. 歴史 (Geschichte) (History)
 - ☐ E. 音楽 (Musik) (Music)
 - ☐ F. 食べ物 (Essen) (Food)
 - ☐ G. 飲み物 (Getränk) (Beverage)
 - ☐ H. その他 (Sonstiges)

13. 旅行の楽しさで知られておられることを楽しんでください。 [問題番号付]

What do you love about the world you're in? (What's your favorite thing?)

- ☐ 自然は世界中どこにでもあります (Nature is everywhere.)
- ☐ 自然は美しい (Nature is beautiful.)
- ☐ 世界中どこにいても、自然は私たちに必要なものを提供してくれます (No matter where you go, nature provides us with what we need.)
- ☐ 自然は私たちに多くのことを教えます (Nature teaches us a lot of things.)
- ☐ 自然は私たちに多くのことを提供してくれます (Nature provides us with a lot of things.)
- ☐ 自然は私たちに多くのことを提供してくれます (Nature provides us with a lot of things.)
- ☐ 自然は私たちに多くのことを提供してくれます (Nature provides us with a lot of things.)
- ☐ 自然は私たちに多くのことを提供してくれます (Nature provides us with a lot of things.)

14. アウトドアは、健康に良いだけでなく、心にも良いことです。 [問題番号付]

What do you love about outdoor activities? (What's your favorite thing?)

- ☐ 自然は私たちに多くのことを提供してくれます (Nature provides us with a lot of things.)
- ☐ 自然は私たちに多くのことを提供してくれます (Nature provides us with a lot of things.)
- ☐ タピエなどが食べられる (You can eat tapir?)
- ☐ キャンプなど屋外で遊ぶことができる (You can play outdoors such as camping.)
- ☐ 環境負荷の少ない移動手段がある (There are means of transportation that have a low environmental impact.)
- ☐ 自然保護活動に参加することができる (You can participate in nature conservation activities.)

12. どの程度、ITスキルを向上させる必要があるか？

あなたは、あなたの現在のスキルセットが、COVID-19 後に？

- ☐ ほとんど何も変わらない (COVID-19 後にほとんど変わらない)
- ☐ 多少なりとも向上が必要
- ☐ 完全に向上が必要

100%

13. どの程度、英語を話せる必要があるか？

あなたは、英語を話せる必要があるか？

- ☐ ほとんど何も話せない
- ☐ 多少なりとも話せる
- ☐ 完全に話せる必要がある
- ☐ ほとんど何でも話せる

Copyright © 2020 Microsoft Corporation. All rights reserved. Microsoft, the Microsoft Dynamics logo, and the Microsoft Dynamics logo are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.



③調査結果

【回収概要】

サンプル数：当初予定は 50 サンプルでしたが、73 サンプル獲得できました。

回収期間：令和 4 年 9 月 30 日（金）～10 月 10 日（月）

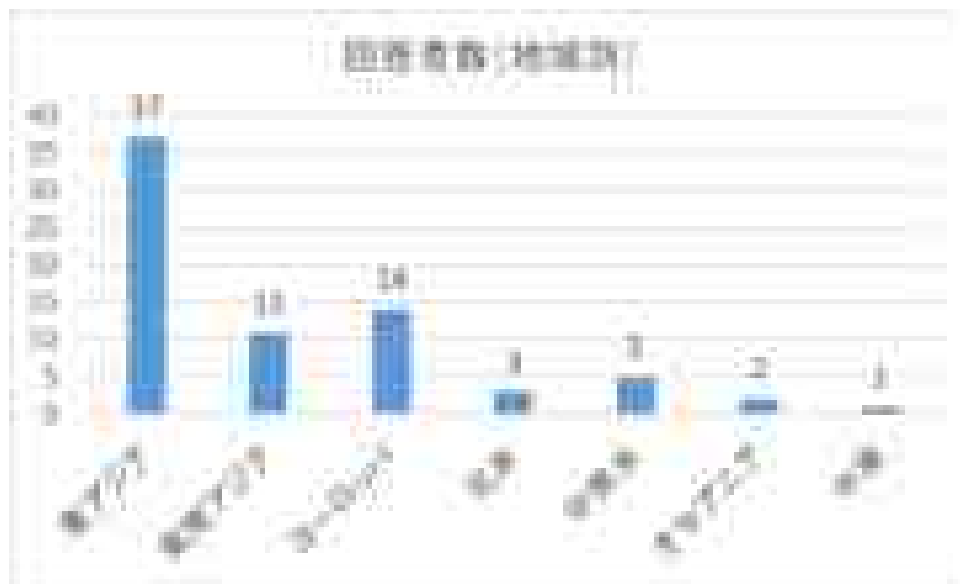
【設問 1】あなたの国籍を教えてください。

◆アジア地域が約半数を占めましたが、欧米豪などの回答も得られており、おおむね満遍なくサンプルが回収できました。

表 回答者の国籍

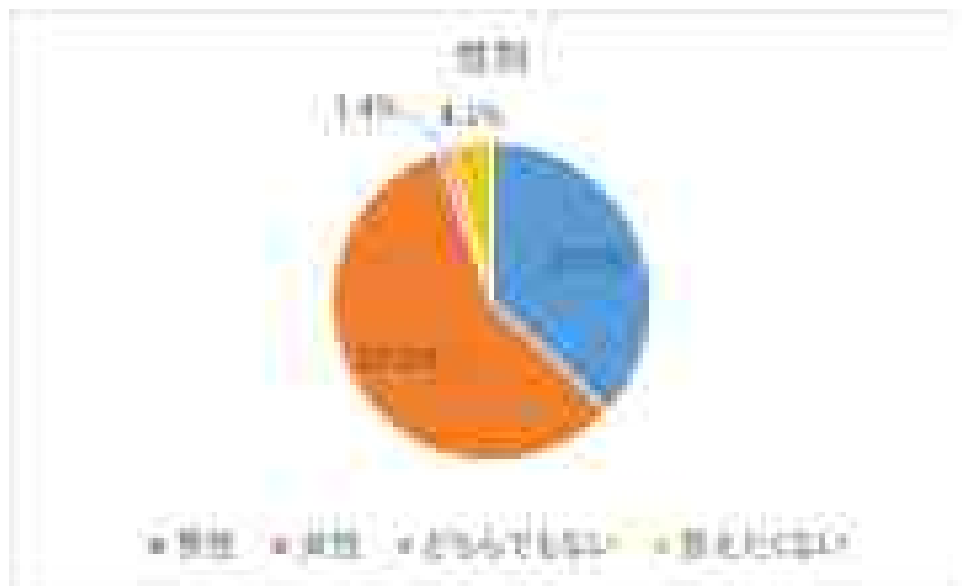
国籍					
中国	24	ドイツ	2	エルサルバドル	1
台湾	9	ネパール	2	オーストラリア	1
ウズベキスタン	3	フィリピン	2	スウェーデン	1
マレーシア	3	フランス	2	トリニダードトバゴ	1
韓国	3	ブルガリア	2	ニュージーランド	1
アメリカ	2	ベトナム	2	ブラジル	1
アルゼンチン	2	ロシア	2	香港	1
インドネシア	2	カナダ	1		
ウクライナ	2	イラン	1		

東アジア	東南アジア	ヨーロッパ	北米	中南米	オセアニア	中東
37	11	14	3	5	2	1



【設問 2】 あなたの性別を教えてください。

◆女性の回答がやや多い結果となりました。



【設問 3】 旅行先を選ぶときに重要なことはどんなことですか。（複数選択可）

◆「自然景観」「魅力的な宿泊施設」と回答した人が半数以上いました。次いで、「印象的な写真」「伝統文化体験」「温泉」がおよそ 4 割と続いています。

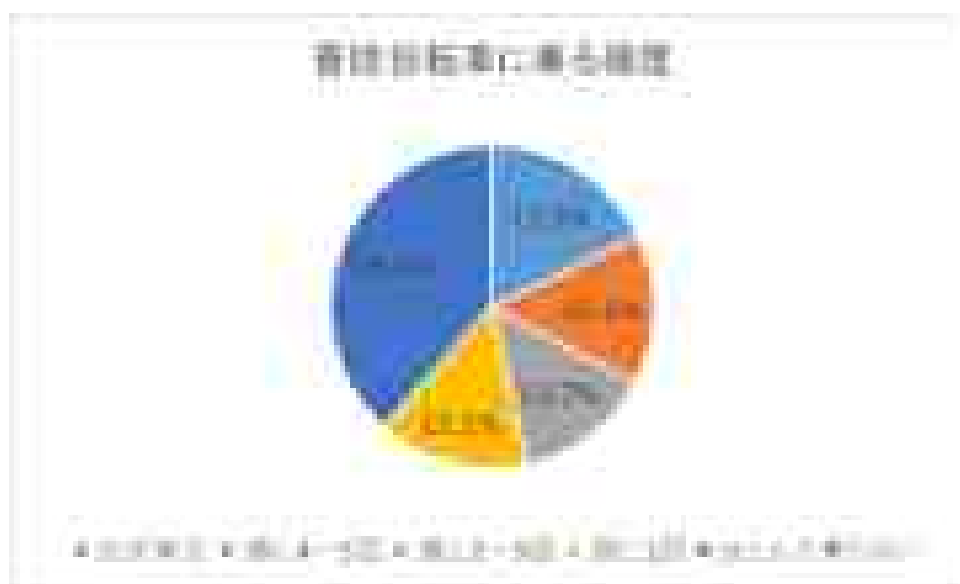
◆一方で、「多言語対応」や「買い物」はあまり重要視していない様子が伺えます。

旅行先を選ぶときに重要なこと		
	回答数	回答率
自然景観が楽しめる	47	68.1%
魅力的な宿泊施設がある	40	58.0%
印象的な写真が撮れる	35	50.7%
伝統文化が体験できる	35	50.7%
温泉がある	33	47.8%
お酒や食が楽しめる	27	39.1%
鉄道、バス、タクシーなどの公共交通機関が充実している	27	39.1%
トレッキング・ハイキングが楽しめる	18	26.1%
サイクリングが楽しめる	14	20.3%
キャンプが楽しめる	13	18.8%
多言語対応されている	10	14.5%
買い物が楽しめる	9	13.0%

* 50%以上の項目を赤字にしています。

【設問 4】 普段どれくらいの頻度で自転車に乗りますか。

- ◆ 「ほぼ毎日」「週に 4～5 回」という、日常の移動手段として利用している人がいる一方、「ほとんど乗らない」という人も 4 割ほどいました。



【設問 5】 旅行先で自転車に乗りますか。

- ◆ 「いつも乗っている」は 1 名で、「たまに乗っている」が約半数を占めました。



【設問 6】新潟県系魚川市を知っていますか。

- ◆「知っているし、行ったこともある」は5名でした。それ以外に来訪経験はなく、「知らない」が6割を占めました。



【設問 7】自転車に乗った観光の魅力はどんなことだと思いますか。（複数回答可）

- ◆「気になったところに手軽に立ち寄れる」が7割以上となり、車などと違って自由に行動できることが魅力的であると考えられます。

自転車に乗った観光の魅力		
	回答数	回答率
気になったところに手軽に立ち寄れる	52	75.4%
安く自由に移動できる	50	72.5%
周辺の風景	47	68.1%
爽快感	31	44.9%
免許なしでも乗れる	27	39.1%
目的地に着いたときの達成感	26	37.7%

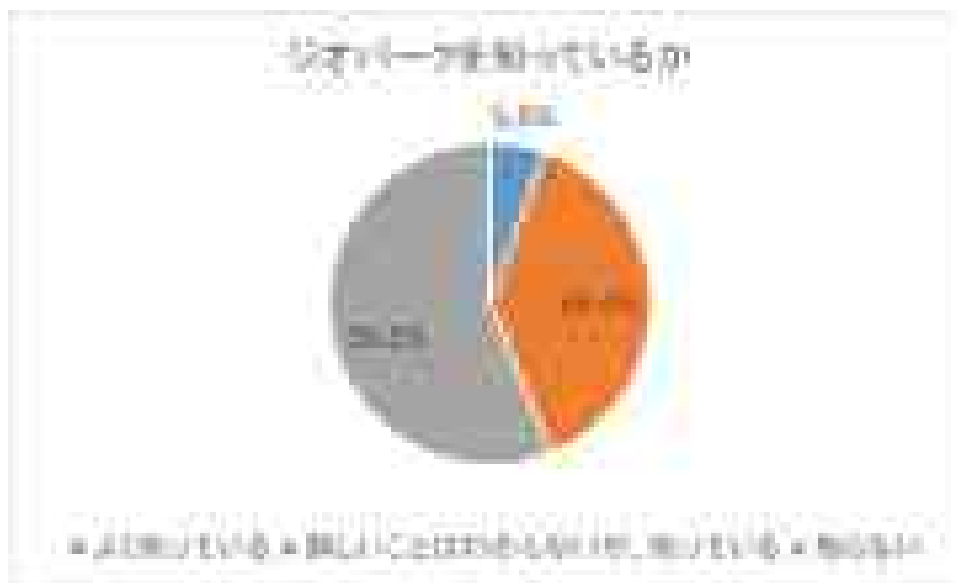
*50%以上の項目を赤字にしています。

<自由記入意見>

- ・健康に寄与するから。
- ・地域の交通機関だけでなく、自分で起点・終点を決めて旅することができる。また、野生生物を見たり、人里離れた場所を訪れることで、身体的にも精神的にも安らぎを得ることができる。このようなことは、普段デスクワークしている人にとって非常によりストレス解消になります。加えて、自転車はエコな乗り物です。

【設問 8】 ジオパークを知っていますか。

- ◆ 「よく知っている」は 4 名でした。「知らない」が半数を超えているため、認知度が低い現状が明らかになりました。



【設問 9】 ジオパークではどんなことを体験したいですか。（複数回答可）

- ◆ 「特異な地形を見たい」「秘湯に入りたい」「珍しい鉱物・宝石を見たい」が半数を超え、これらを訴求ポイントにすることが必要と考えられます。

ジオパークで体験してみたいこと		
	回答数	回答率
特異な地形を見たい	42	60.9%
秘湯に入りたい	41	59.4%
珍しい鉱物・宝石を見たい	37	53.6%
その地域に住む人々の暮らしぶりを見たい	35	50.7%
雄大な自然の中でキャンプしてみたい	31	44.9%

* 50%以上の項目を赤字にしています。

<自由記入意見>

- ・ コンビニやそれに似た店でも構わないので、その土地の食を楽しみたい。

【設問 10】サイクリングでやってみたいことを選んでください。（複数回答可）

◆「林道を走ってみたい」が7割を超えており、他を圧倒する回答率の高さでした。

サイクリングでやってみたいこと		
	回答数	回答率
林道を走ってみたい	54	78.3%
特別な自転車で砂浜を走ってみたい	28	40.6%
自転車を電車やバスに載せて、離れたところも走ってみたい	27	39.1%
スキー場など広いところを自由に走ってみたい	27	39.1%
地元のガイドと一緒に走ってみたい	26	37.7%
テントや寝袋を持ってキャンプして周遊したい	25	36.2%
登り坂を一気に登ってみたい	15	21.7%

*50%以上の項目を赤字にしています。

<自由記入意見>

- ・平坦なところであれば、美しい自然の中でサイクリングするのはそんなに難しいことではないと思います。
- ・人通りの少ない穴場を見たり、地元の人たちの生活を見たり、地元の人たちの家に立ち寄り、話を聞いたりしたい。また、高い山や海岸から日の出を見てみたい。

【設問 11】アウトドアツーリズムに必要なことはどんなことですか。（複数回答可）

◆「自然景観が見られる」が約半数と多くなりましたが、過半数には届きませんでした。それ以外に回答率の高い項目はなく、アウトドアツーリズムに明確な答えはなく、自由な発想が求められる可能性を示唆しているとも考えられます。

アウトドアツーリズムに必要なこと		
	回答数	回答率
自然景観が見られる	36	52.2%
環境負荷の少ない移動手段がある	12	17.4%
自然保護活動に加わることができる	10	14.5%
キャンプなど屋外で宿泊できる	8	11.6%
野生動物が見られる	8	11.6%
ジビエなどが食べられる	6	8.7%

*50%以上の項目を赤字にしています。

<自由記入意見>

- ・そこで生息している動物、植物と自然環境へ与える影響を最小限にする

【設問 12】 コロナ禍を経て、アウトドアツーリズムに対する意識はどのように変わりましたか。

- ◆「これまで以上に体験してみたくなった」「体験してみたくなった」が合計で7割を超えており、コロナ禍を経てアウトドアツーリズムのニーズが高まっていることが考えられます。



【設問 13】 コロナ前の状態に戻ったら、旅行に行きたいですか。

- ◆「とてもいきたい」「いきたい」が合計で9割を超えており、アフターコロナにおける需要の回復が期待されます。



【詳細分析 1】「普段自転車に乗っているか」×「旅行先で自転車に乗るか」

◆普段と旅行先で自転車に乗るかどうかについて、あまり相関関係は無いようです。

		旅行先		
		いつも乗っている	たまに乗っている	ほとんど乗らない
普段	ほぼ毎日		9	4
	週に4～5回		6	4
	週に2～3回	1	6	4
	週に1回		8	3
	ほとんど乗らない		12	16

【詳細分析 2】「地域」×「旅行先で自転車に乗るか」

◆出身地域と旅行先で自転車に乗るかどうかについて、あまり相関関係は無いようです。

		旅行先		
		いつも乗っている	たまに乗っている	ほとんど乗らない
地域	ヨーロッパ		9	5
	北米		1	2
	中南米		2	3
	オセアニア		2	
	中東		1	
	東アジア	1	23	13
	東南アジア		3	8

【詳細分析 3】「地域」×「旅行先を選ぶときに重視すること」

◆「自然景観」「伝統文化」「魅力的な宿泊施設」はどの地域でも重視する傾向が見られますが、欧米豪は特に「トレッキング・ハイキング」、東南アジアは「印象的な写真」、東アジアは「お酒や食」も重要視していることがわかります。

	地域							
	欧米豪	(割合)	東南アジア	(割合)	東アジア	(割合)	その他	(割合)
お酒や食が楽しめる	5	26.3%	3	27.3%	17	45.9%	1	16.7%
キャンプが楽しめる	8	42.1%	1	9.1%	4	10.8%	0	0.0%
サイクリングが楽しめる	7	36.8%	2	18.2%	2	5.4%	3	50.0%
トレッキング・ハイキングが楽しめる	12	63.2%	3	27.3%	3	8.1%	0	0.0%
印象的な写真が撮れる	11	57.9%	7	63.6%	13	35.1%	4	66.7%
温泉がある	10	52.6%	6	54.5%	13	35.1%	4	66.7%
自然景観が楽しめる	15	78.9%	10	90.9%	18	48.6%	4	66.7%
多言語対応されている	2	10.5%	0	0.0%	5	13.5%	3	50.0%
鉄道、バス、タクシーなどの公共交通機関が充実している	11	57.9%	6	54.5%	7	18.9%	3	50.0%
伝統文化が体験できる	12	63.2%	6	54.5%	13	35.1%	4	66.7%
魅力的な宿泊施設がある	12	63.2%	7	63.6%	17	45.9%	3	50.0%

*各地域上位3つを赤字にしています。

【詳細分析 4】「地域」×「自転車を使った旅の魅力」

- ◆「安く自由に移動できる」「手軽に立ち寄れる」はどの地域でも魅力的に感じようですが、欧米豪では特に「周辺の風景」、東南アジアでは「爽快感」に魅力を感じる傾向にあり、欧米豪の「周辺の風景」は特に顕著です。

	地域							
	欧米豪	(割合)	東南アジア	(割合)	東アジア	(割合)	その他	(割合)
安く自由に移動できる	14	73.7%	10	90.9%	20	54.1%	6	100.0%
気になったところに手軽に立ち寄れる	16	84.2%	10	90.9%	21	56.8%	5	83.3%
周辺の風景	18	94.7%	6	54.5%	18	48.6%	4	66.7%
爽快感	8	42.1%	8	72.7%	12	32.4%	3	50.0%
免許なしでも乗れる	6	31.6%	6	54.5%	10	27.0%	5	83.3%
目的地に着いたときの達成感	11	57.9%	2	18.2%	8	21.6%	4	66.7%

*各地域上位3つを赤字にしています。

【詳細分析 5】「地域」×「ジオパークで体験したいこと」

- ◆「鉱物・宝石」「特異な地形」「秘湯」はどの地域でも体験したいという傾向が見られますが、欧米豪では特に「キャンプ」を体験したいという傾向が見られます。

	地域							
	欧米豪	(割合)	東南アジア	(割合)	東アジア	(割合)	その他	(割合)
その地域に住む人々の暮らしを見たい	12	63.2%	5	45.5%	15	40.5%	2	33.3%
珍しい鉱物・宝石を見たい	9	47.4%	6	54.5%	20	54.1%	3	50.0%
特異な地形を見たい	15	78.9%	9	81.8%	14	37.8%	4	66.7%
秘湯に入りたい	13	68.4%	7	63.6%	16	43.2%	5	83.3%
雄大な自然の中でキャンプしてみたい	13	68.4%	4	36.4%	13	35.1%	1	16.7%

*各地域上位3つを赤字にしています。

【詳細分析 6】「地域」×「サイクリングでやってみたいこと」

- ◆「林道」はどの地域でも重視する傾向が見られますが、欧米豪は特に「キャンプ」「ガイドと一緒に」、東南アジアは「広いところを自由に」「特別な自転車で砂浜」、東アジアは「広いところを自由に」「ガイドと一緒に」を体験したいという傾向が見られます。

	地域							
	欧米豪	(割合)	東南アジア	(割合)	東アジア	(割合)	その他	(割合)
スキー場など広いところを自由に走ってみたい	7	36.8%	4	36.4%	12	32.4%	4	66.7%
テントや寝袋を持ってキャンプして周遊したい	10	52.6%	3	27.3%	11	29.7%	1	16.7%
自転車を電車やバスに載せて、離れたところも走ってみたい	9	47.4%	3	27.3%	11	29.7%	4	66.7%
地元のガイドと一緒に走ってみたい	10	52.6%	3	27.3%	12	32.4%	1	16.7%
特別な自転車で砂浜を走ってみたい	10	52.6%	5	45.5%	10	27.0%	3	50.0%
林道を走ってみたい	15	78.9%	9	81.8%	24	64.9%	4	66.7%

*各地域上位3つを赤字にしています。

【詳細分析 7】「地域」×「アウトドアツーリズムで必要だと思うこと」

◆「自然景観」がどの地域でも必要だとする傾向が見られる以外、特に目立つ傾向はありませんでした。

	地域							
	欧米豪	(割合)	東南アジア	(割合)	東アジア	(割合)	その他	(割合)
自然景観が見られる	11	57.9%	8	72.7%	14	37.8%	3	50.0%
野生動物が見られる	1	5.3%	0	0.0%	6	16.2%	0	0.0%
ジビエなどが食べられる	1	5.3%	0	0.0%	3	8.1%	1	16.7%
キャンプなど屋外で宿泊できる	2	10.5%	0	0.0%	6	16.2%	0	0.0%
環境負荷の少ない移動手段がある	4	21.1%	1	9.1%	6	16.2%	1	16.7%
自然保護活動に加わることができる	3	15.8%	2	18.2%	4	10.8%	1	16.7%

*各地域最上位を赤字にしています。

④まとめ

外国人アンケート調査結果から、以下のような大きく3つのニーズが想定されます。

1. 全体に自然に関する資源を重要視している傾向が見られます。

「自然景観」「周辺の風景」やそれらに関連する「印象的な写真」など、**自然に関する資源を特に重要視している傾向**が見られ、その土地の「歴史文化」にも関心が高いようで、地域ならではの資源をいかに表現していくかが重要なのではないかと考えられます。

一方、多言語化や二次交通の整備などは、それほど重要視している傾向が見られず、**「多少不便があっても見たい」という欲求**があるものと考えられます。

また、サイクリングに関しては「気軽に立ち寄れる」といった、自動車や公共交通機関にはない移動特性のニーズが高く、「林道を走ってみたい」という**自然をじかに体感できる体験**に特に関心が高い傾向が見られました。

日常の自転車利用有無と旅行先での利用有無にはあまり相関関係がないようで、このようなことから、**様々なタイプの旅行者がターゲットとになり得る**ということが言えるかもしれません。

2. 旅行者の地域により細かな点でニーズが異なっています。

全体の大きな傾向として、ニーズのある観光資源等に大きな変わりはありませんが、詳細を見ていくと傾向の違いが明らかになっています。

例えば、欧米豪の方にとって、サイクリングの魅力は「周辺の風景」が見られることであり、回答率は90%を超えていることから、欧米豪に訴求するには「どんな風景が見られるか」を明確に示す必要があるものと考えられます。

このようなことから、**ターゲットとなる国籍は様々考えられるものの、それぞれに訴求すべきポイントは少しずつ変わっており、今後ターゲットを見据えた取組みが必要**であることを示唆しています。

3. コロナ禍のアウトドアツーリズムに対する意欲は高い傾向にあるようです。

アウトドアツーリズムに対する意識やコロナ後の旅行意欲は非常に高い傾向にあり、いわゆるアフターコロナの需要回復に対応するのに、アウトドアツーリズムは有力な手段であると考えられます。

一方、**この需要の回復を一時的なものとしないう、継続して旅行者が訪れるような仕組みづくりが重要**であると考えられます。

2-1-4 キャンプ場の状況

(1) 糸魚川市のキャンプ場

糸魚川市には、下表のとおり 10 のキャンプ場があり、それぞれに特徴を持っています。

状況の調査にあたっては、キャンプ場に対するニーズは非常に多様（＊）であることから、本業務がサイクリングを活用したアウトドアツーリズムであるという視点から、サイクリング環境の整っている「ヒーリングガーデンたかなみキャンプ場」について記載することとします。

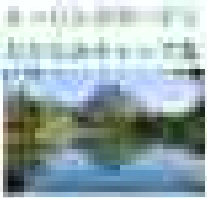
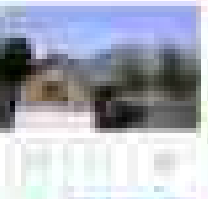
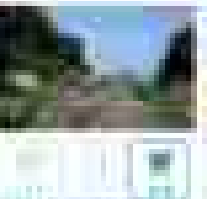
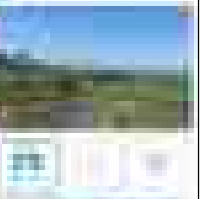
施設名	    				
	1. 糸魚川市立中央公園キャンプ場	2. 糸魚川市立中央公園キャンプ場	3. 糸魚川市立中央公園キャンプ場	4. 糸魚川市立中央公園キャンプ場	5. 糸魚川市立中央公園キャンプ場
施設名	    				
	6. 糸魚川市立中央公園キャンプ場	7. 糸魚川市立中央公園キャンプ場	8. 糸魚川市立中央公園キャンプ場	9. 糸魚川市立中央公園キャンプ場	10. 糸魚川市立中央公園キャンプ場

図 糸魚川市のキャンプ場（糸魚川市観光協会 HP より）

<キャンプ場に対するニーズ>

キャンプ場に対するニーズは様々で、右の調査結果のように、自然に近い状態のキャンプ場を嗜好する人もいれば、グランピングに代表されるような高規格なキャンプ場を嗜好する人まで様々です。

このように、真逆のニーズが混在する特徴的なマーケットであるとも考えられることから、ターゲットを明確に絞ることが特に重要と言えるかもしれません。



図 ソトレシビ総研「キャンプトレンド調査 2021」（N=400）

(2) ヒーリングガーデンたかなみキャンプ場の状況

ヒーリングガーデンたかなみキャンプ場の概要は、糸魚川市観光協会 HP によると下表のとおりです。なお、ここには記載がありませんが、2022 年度よりレンタル eMTB を整備し、また、2023 年度には未舗装部分を含むサイクリングコースが整備される予定となっています。

表 施設概要（糸魚川市観光協会 HP より）

開設期間	2022 年 4 月 23 日(土)～11 月上旬
チェックイン・アウト	(in) 13:30～16:00 (out) 11:00 まで
収容人員	300 名
駐車場	149 台
テントサイト	53 カ所
料金	テントサイト：1 張 1 泊 2,000 円 施設使用料（キャンプ利用）：1 人 1 泊 100 円 レンタルテント（4 人用）：1 張 1 泊 2,200 円
オートキャンプ	不可
バンガロー	なし
管理人	いる
携帯電話	利用不可
公衆トイレ	水洗 2 カ所
シャワー風呂	温水シャワー4 室（1 人 3 分 100 円）
売店・食堂・自販機	あり
電源コンセント	なし
コインランドリー	なし
周辺温泉	日帰り湯ひすいの湯、糸魚川温泉ホテル國富アネックス、姫川温泉ホテル國富翠泉閣、塩の道温泉ホワイトクリフ
周辺商店	マックスバリュ糸魚川店まで約 20 km

【サイクリング環境】

●ポジティブポイント

- ・雄大な自然に囲まれており、ヨーロッパを思わせるような景色が広がる。
- ・交通量が少なく、変化に富んだヒスイ峡までのルートがあり、中～上級者も楽しめる。
- ・eMTB のレンタルや整備されたサイクリングコースがあり、初心者でも手軽に楽しめる。

●ネガティブポイント

- ・バンガローや宿泊施設がなく、少なくとも寝袋などの準備が必要
→ サイクリストは荷物を極力減らす（軽くする）ことも重要視するためです。
- ・食堂の営業は日中時間帯のみ。
→ 夕朝食を事前調達しておく必要があります。
- ・携帯電話が利用不可
→ 「自然に近い状態」という意味ではポジティブですが、サイクリング中の事故等の場合、すぐに連絡が取れないなどの懸念が残ります。

2-1-5 サイクルルート状況

「3-2 現地調査の実施」を参照ください。

2-1-6 他サイクルルート及びキャンプ場との比較

糸魚川市におけるアウトドアツーリズムの可能性を把握するため、現地調査等で把握した「特徴」に視点を置き、他事例との比較を行いました。

(1) サイクルルート

【視点①】ダイナミックな地形

海岸線から一気に登る地形など、糸魚川市はサイクリングにとってダイナミックな地形を持っています。また、このような急坂のロングライドが複数のルートで楽しめるというのは極めて特徴的と言え、他との差別化を図る資源になると考えられます。

表 日本の代表的な急坂

	名称	場所	距離	平均勾配	標高差
1	和田峠	東京都	3.5km	10.4%	363m
2	暗峠	大阪府と奈良県の境	2.4km	16.7%	401m
3	ふじあざみライン	静岡県	11.5km	9.9%	1,137m
(参考)	小滝駅から高浪の池	—	7.4km	6.5%	480m
(参考)	高浪の池からヒスイ峡	—	5.1km	5.8%	294m

【視点②】プラスαとなる多彩な資源

糸魚川市には、日本海の海の幸や海洋高校オリジナル食品などの「食」、谷村美術館や玉翠園などの「芸術」、能生白山神社や奴奈川産所などの「歴史・文化」、世界ジオパークに認定されており、イタリアのドロミテ渓谷を思わせる「絶景」など、多彩な資源が見られます。

このうち、「食」「芸術」「歴史・文化」は内容や組合せの差はあれど、他地域でも同様な資源は見られますが、世界ジオパークに裏付けされた「景観」は、特徴的であると言えます。

なお、世界ジオパークには日本国内で9箇所（アポイ岳（北海道）、洞爺湖有珠山（北海道）、伊豆半島（静岡県）、糸魚川（新潟県）、山陰海岸（京都府・兵庫県・鳥取県）、室戸（高知県）、隠岐（島根県）、阿蘇（熊本県））認定されており、その多くで傾斜や景観を利用したサイクルルートの設定やツアー・大会を開催していますが、地理的条件から交通アクセスに恵まれている場所は実は少なく、輪行などにより公共交通でアクセスが容易な世界ジオパークは、糸魚川（北陸新幹線）と伊豆半島（東海道新幹線）の2つ程度と考えられ、公共交通機関利用が基本となるインバウンドなどに対して、特に差別化余地が大きいものと考えられます。

【視点③】不十分なサイクリング環境整備

取組み途上であるため、不十分であることは否めず、時間をかけて進めるべきことと考えますが、不十分であることは「方向性を変える余地がある」ということでもあります。有識者からの指摘もあるとおり、道路を舗装が必要というわけではなく、近年人気の高まるグラベルライドは、未舗装であることを望むジャンルです。

整備が十分でないことを逆手にとらえ、時流に沿った整備方向性を検討していくことが望まれます。

（グラベルルートの例）斑尾高原「GIRO GRAVEL BIKE PARK」

(2) キャンプ場

「2-1-4 キャンプ場の状況」に記載のとおり、キャンプ場に対するニーズは非常に多様であることから、一概に比較することは適当ではないと考えられます。このため、本項目では、高浪の池キャンプ場の特徴である「自然景観」に着目し、有識者の星野氏からも指摘のあった、イタリアのミズリーナ湖と比較しました。

サイクリング人口や市場の成熟度にはイタリアと日本では差があると思われますが、一つ一つの要素を見ると、糸魚川市でも同様な資源があることがわかり、「日本のドロミテ」というような打ち出し方も可能と考えられます。

(ミズリーナ湖)

- ・イタリア北東部ドロミテにある自然湖で、海拔 1,754m・周囲 2.6km・深さ 5m と、高浪の池（海拔 540m・周囲 1km・深さ 13m）に近い環境にあります。
- ・透き通った水と綺麗な空気が魅力を高めています。
- ・ミズリーナ湖を含むドロミテエリアは、ヨーロッパのサイクリストが憧れると言われる絶景ルートが存在します。

(ルート例)

1. セラロンダ

セラロンダ山塊を一周する約 55km のルート

2. クリスタッロ周遊

クリスタッロ山を一周する約 42km のルート（ルート上にミズリーナ湖あり）

3. コルチナ・ダンペッツォ～オウロンゾウループ

ルート選択により 60～118km まで選べる初心者でも走行できるルート

4. コルチナ・ダンペッツォ～ドビアッコ～リエンツ

オーストリアへの国境超えルート。途中は鉄道と並行するため、列車の併用も可能なルート

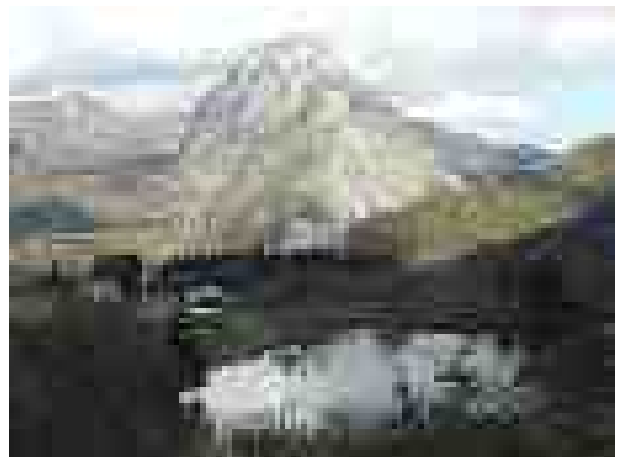
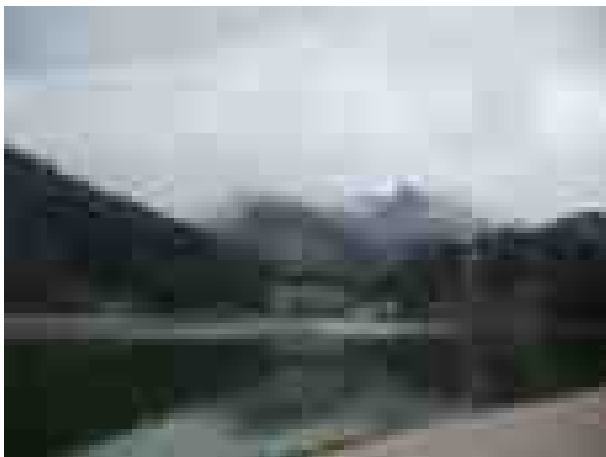


図 左：ミズリーナ湖 右：高浪の池

2-1-7 直近のインバウンド動向

(1) 訪日外客数 (JNTO)

2022年12月16日公表の訪日外客数 (JNTO 推計値) を見ると、コロナ前の水準には程遠いものの2022年10月11日より水際対策が大幅に緩和されたため、前年11月に比べ極めて多く (総数で40倍以上) の外国人旅行者が入国しています。

特に、アジア圏からの伸びが著しく、また、アジア・欧米問わず国際線の再開も相次いでおり、この傾向は当面続くことと予想されます。

2022年11月 訪日外客数 (JNTO推計値) (対2019年・対2021年比)

国・地域	総数				
	2019年11月	2021年11月	2022年11月	対2019年11月 伸率 (%)	対2021年11月 伸率 (%)
総数	2,441,274	20,682	934,500	-61.7	4,418.4
韓国	205,042	2,021	315,400	53.8	15,506.1
中国	750,951	3,189	21,000	-97.2	558.5
台湾	392,102	390	99,500	-74.6	25,412.8
香港	199,702	104	83,000	-58.4	79,707.7
タイ	140,265	248	52,100	-62.9	20,908.1
シンガポール	65,295	95	40,300	-38.3	42,321.1
マレーシア	64,987	130	17,500	-73.1	13,361.5
インドネシア	37,213	688	17,000	-54.3	2,370.9
フィリピン	64,763	544	21,700	-66.5	3,889.0
ベトナム	41,892	1,814	33,600	-19.8	1,752.3
インド	14,863	1,571	8,400	-43.5	434.7
豪州	48,327	160	20,200	-58.2	12,525.0
米国	148,993	1,432	84,300	-43.4	5,786.9
カナダ	33,316	361	15,900	-52.3	4,304.4
メキシコ	6,494	51	2,000	-69.2	3,821.6
英国	37,709	546	13,600	-63.9	2,390.8
フランス	24,290	349	10,800	-55.5	2,994.6
ドイツ	19,525	273	9,700	-50.3	3,453.1
イタリア	12,350	158	5,200	-57.9	3,191.1
スペイン	10,535	87	3,600	-65.8	4,037.9
ロシア	13,142	265	2,000	-84.8	654.7
中東地域	9,836	132	6,500	-33.9	4,824.2
その他	99,682	6,074	51,200	-48.6	742.9

(2) アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査 2022 年度版（株式会社日本政策投資銀行・公益財団法人日本交通公社）

＊調査結果概要より関連部分のみ抜粋

次の海外旅行先として、日本の人気は 1 位 アジアではトップを維持、欧米豪ではトップから 2 位に低下

- ・次の海外旅行先として、日本の人気は引き続き高く、トップを維持。
- ・しかしながら、その人気については下降の兆しもうかがえる。アジアではトップを維持しているものの、欧米豪では前回トップから 2 位に低下した。
- ・訪日リピーターの多い台湾と香港では、圧倒的な人気を維持している一方、訪日旅行新興国であるインドネシアでは、トップを維持しつつも人気が低下しているほか、フランスでも前回 2 位から 5 位へと順位を落としている。
- ・海外旅行が回復している欧米豪では、厳しい水際対策を講じていた日本は現実的な海外旅行先として捉えられていなかった可能性があるが、10 月以降の水際対策の大幅緩和により海外旅行の候補地となり、日本人気回復の契機となることが期待される。
- ・日本人気回復を確実なものにするためには、地域や事業者が連携し、訪日外国人旅行者のニーズへの対応や受入体制整備、魅力向上への取り組みが望まれる。

コロナ禍で意識が高まったアウトドアアクティビティ、サステナブルな取り組みにも高い関心

- ・コロナ禍で意識が高まったアウトドアアクティビティについては、ウォーキングや登山は、国籍を問わず訪日旅行での体験ニーズが高い。また、雪、植物、森林、フルーツ、動物、星空、農山漁村等の地域資源に関するアウトドアアクティビティへの関心も高い。
- ・日本の国立公園に対し、訪日旅行希望者の 9 割が入場料を許容している。
- ・サステナブルな取り組みへの関心は高く、高収入層の意識が一層高い。
- ・旅行者はゴミの削減等、地域へのネガティブなインパクトの軽減だけでなく、地域の特産品購入等、地域へのポジティブな影響に貢献する取り組みへの実施意向も高い。
- ・日本の地方観光地への訪問意向はアジアで 9 割、欧米豪で 8 割とコロナ禍前と変わらず高水準。
- ・地域資源を有効活用することにより、高い地方訪問意向を実際の来訪につなげていくことが期待される。国立公園や地域の自然資源をフックにした観光コンテンツやツアーの創出など、地域に今ある資源のさらなる活用が望まれる。

(3) 株式会社 wondertrunk & co. (代表：岡本岳大氏)

- ・10/11 の水際対策緩和前後から、急激に問い合わせが増えている。
- ・11 月末頃時点で、来年 5 月末出発までは受入許容量を超えたため、現在は来年 6 月以降出発のみ受け付けている現状である。
- ・当社はいわゆる富裕層のお客様が多いが、本物を体験したいというニーズはコロナ前も後も変わっていない。特別感のある商品にはしっかりお金を払っている。
- ・当社の五島列島でのサイクリングツアーでは、自転車で走るだけではなく、コーヒースタンドや地域のスイーツを食べたりする体験も取り入れている。

3. サイクルモデルルート造成のための現地調査及び検討会開催

3-1 モデルルートの検討

3-1-1 検討フロー

モデルルートの検討は、以下のフローで実施しました。

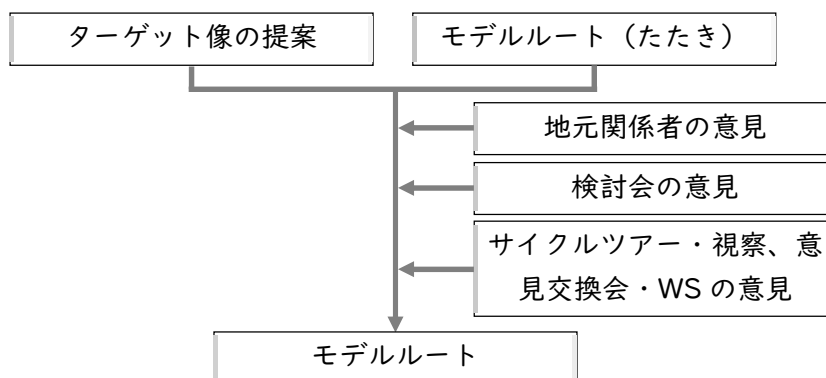


図 モデルルートの検討フロー

3-1-2 ターゲット像の提案

本事業の対象地域である糸魚川市には、久比岐自転車道や糸魚川ジオパークなど、アウトドアツーリズムに関する魅力的な資源が揃っていますが、今後の取組み方向性を考える上で、ターゲット像を想定することは重要と考え、ターゲットについて以下のような3つの考え方を示しました。

ターゲット像①：旅行の移動手段としてサイクリングする人たち

あくまで旅行の目的は観光などであり、サイクリングはその移動手段であるという位置づけ。このため、サイクリングを利用することで自身の観光価値が向上することが重要と考える人たち。具体的には、スムーズな移動、サイクリング中に見られる景色や食べられるものなどの要素を重視すると考えられます。

サイクリングレベルとしては、初級者と考えられます。

ターゲット像②：サイクリングを観光コンテンツの一つとして価値を感じる人たち

サイクリングそのものが観光コンテンツの一つであるため、どのように楽しめるサイクリングなのかに重点を置く人たち。具体的には、サイクリング中に見られる景観、爽快感・達成感、非日常感などの要素を重視すると考えられます。

サイクリングレベルとしては、初～中級者と考えられます。

ターゲット像③：ナショナルサイクルートを目的とするようなサイクリスト

糸魚川市の西隣の富山県には、「富山湾岸サイクリングコース」（ナショナルサイクルート）があり、ここを目指して訪れるようなサイクリングそのものが旅行の主目的である人たち。具体的には、走行距離、獲得標高などの要素を重視すると考えられます。

サイクリングレベルとしては、中～上級者と考えられます。

3-1-3 地元自治体の意見

前述の考え方及びモデルルートのたたきとなる資料を提示し、地元自治体からの意見を求めたところ、以下のような意見が挙がりました。（令和４年８月１８日（木）キックオフミーティング）

- ・東京～糸魚川ファストランは、民間の取組みが進んでおり、あえて行政が何かするものではないと考える。このような上級者向けコースであれば、糸魚川静岡構造線（糸静線）を辿るようなコースがよいのではないかと。
- ・糸魚川市としてのサイクリングの取組みはまだ始まったばかりなので、初級～中級者向けで、まずは市内のジオパーク（ジオサイト）を回れるようなコースが望ましい。
- ・一方で、ジオパークを回るだけでは誘客が難しいと考えられるので、砂浜のファットバイクやグラベルといった要素も検討していきたい。
- ・高浪キャンプ場では、今年度サイクリング関連の整備を進めており、活用したいと考える。同様に、夏季のスキー場の活用法なども可能性がわかると参考になる。

このような意見を踏まえ、モデルコース検討の考え方を以下のように整理しました。

- ①糸魚川市内のジオパーク（ジオサイト）を周遊するコースを基本とする。
- ②「コースの（ジオパーク以外の）楽しみ」として、ファットバイクやMTB・グラベルが楽しめるような要素を組み入れる。合わせて、消費効果が生まれそうな要素も念頭に置く。
- ③これらを踏まえ、モデルルートは１つではなく、複数（基本コース＋α含む）になることが考えられる。

3-1-4 他のサイクルルート^①の状況を踏まえたモデルルート（たたき）の提示

キックオフミーティングで示したモデルルート（たたき）の資料を示します。

令和4年度観光地域動向調査事業

「糸魚川市のアウトドア（サイクル・キャンプ）ツーリズム動向調査」

モデルルートのご提案

令和4年8月

モデルルート案の提案にあたって



モデルルート案の提案にあたり、以下の点にご留意くださいますようお願い申し上げます。

- ①本調査で専門家として参加することを予定している、株式会社ティンバー・プラネット代表の置野和式（おし の かつら）氏のご意見を賜っております。
- ②糸魚川市の地形は理解しているつもりですが、それをうまく活用しつつ、他との差別化を図ることが重要と考え、糸魚川市やその周辺の特徴を活かせるであろうコースを提案します。」との発言を掲載しております。
- ③現地の状況を確認した上での提案ではないため、具体的なルートや実現可能性等については、糸魚川市関係者の皆さまからの本ミーティングでの意見、並びに本調査で今後予定している現地調査等の結果を考慮する必要があります。
- ④実施可能性等の関係上、全てのルート案を検討するのは難しいため、本日の会議において、地場の皆さまの考えを踏まえ、「1→2つのルートに絞って検討することとします。（ただし、選り抜かれた3〜4ルート案についても、実現可能性がある場合は、次年度以降の検討課題として整理します。これにより、糸魚川市におけるサイタマングを活用したアウトドアツーリズムの拡大可能性を高めることに寄与すると考えます。」

表1 モデルルート案の概要

No.	モデルコース名(仮)	概要
1	東京→糸魚川ファストランの“聖地”	日本で最も歴史あるロングライドコースの目的地として、糸魚川市をロングライドの“聖地”を目指すもの。
2	グラベルライドルート	キャンプなどアウトドア活動も楽しむグラベルライダーをターゲットにしたルートづくり。
3	ヒスイ海岸でのファットバイクライドルート	最大な集客を期待したアクティビティ性の高いサイタマングコンテンツづくり。
4	ジオパークとヒュラタイム	自然の山々を愛する糸魚川市の地形を活かしたルートづくり。
5	糸魚川ジオパークライドルート	ジオパークの巡り方の新たな提案の一つ。

1

モデルルート案①「東京→糸魚川ファストランの“聖地”」

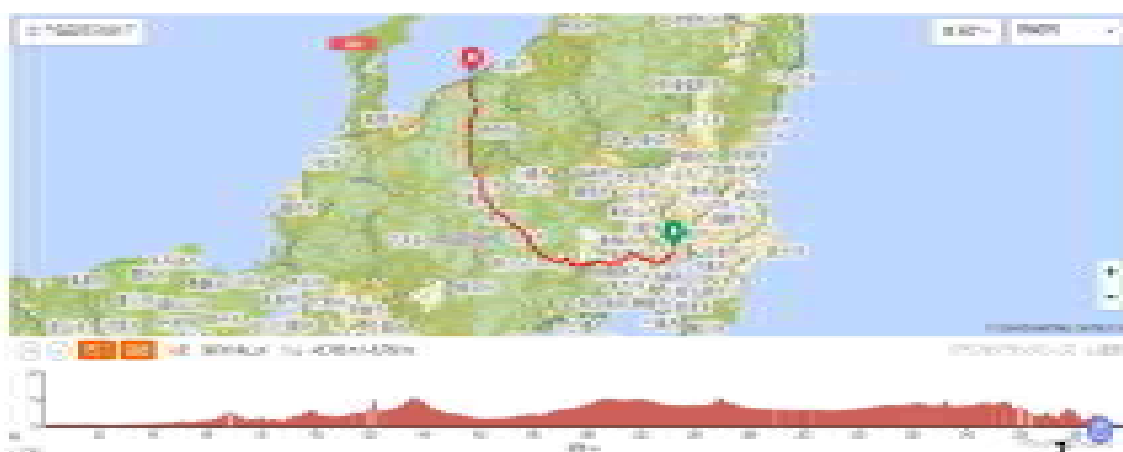
KCS

【概観】

- ・1971年に明治大学自転車部が始めた日本で最も歴史の長いロングライドコース。現在はクラッシュアップ（一人で走り）とスポーツ（複数名のリレー形式）で開催されています。（現在のコースは、開始当初のコースと若干異なります。）
- ・「東京湾の海水を日本海に運んでみよう」という思いがきっかけになったと言われています。
- ・このルートのゴールが糸魚川市（水戸県国富アキックス）であり、糸魚川市は“聖地”と呼ばれるでしょう。
- ・開始当初のコースであれば、全長約400km、標高標高約6,700m

【主なターゲット】

ロングライドコースであるため、上級者向けのコースとなります。



モデルルート案②「グラベルライドルート」

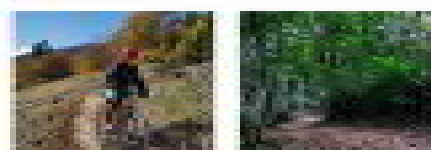
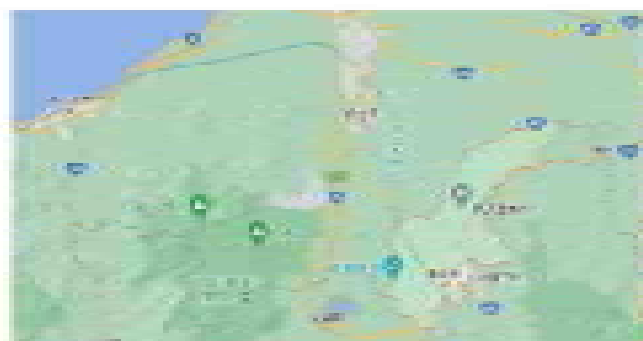
KCS

【概観】

- ・2020年に長野県飯山市町尾高原にオープンした「GRD Gravel Park」など、飯山市周辺にあるグラベルライドルートとの連携を考慮したルートです。
- ・グラベルバイクとは、ダート（砂利道）も舗装道も走れる自転車のこと。
- ・グラベルライダーは、異点を横断周遊を楽しむタイプで、必要最小限のギアを買い、キャンプを楽しむながら走る者と二通りに分かれ、一定の速度範囲も期待されます。

【主なターゲット】

コース設定により、初心者から中級者まで楽しめるルートが構築可能と考えられます。



モデルルート案③「ヒスイ海岸でのファットバイクライドルート」

KCS

【概要】

- ・糸通川市に広がる日本海に面した砂浜（砂浜浜）を、太いタイヤの電動ファットバイクで走ります。
- ・いくつかの砂浜（海水浴場など）と製塩道を組み合わせることによって、国内でも類を見ないロングライドコースの可能性が考えられます。
- ・アタティビティ要素を多分に含むため、サイクリストのみならず一般旅行者向けにも展開可能なコースです。
- ・砂浜だけでなく、雪上も走行可能なため、冬場のアタティビティとしての展開可能性もあり、観光需要の通年化も期待されます。
- ・飯山や戸田温泉スキー場には、ファットバイク専用コースもあります。（冬季）

【主なターゲット】

国内では数に増えつつありますが、アタティビティとして考えるとインバウンド需要も見込まれます。



モデルルート案④「ジオパークヒルクライム」

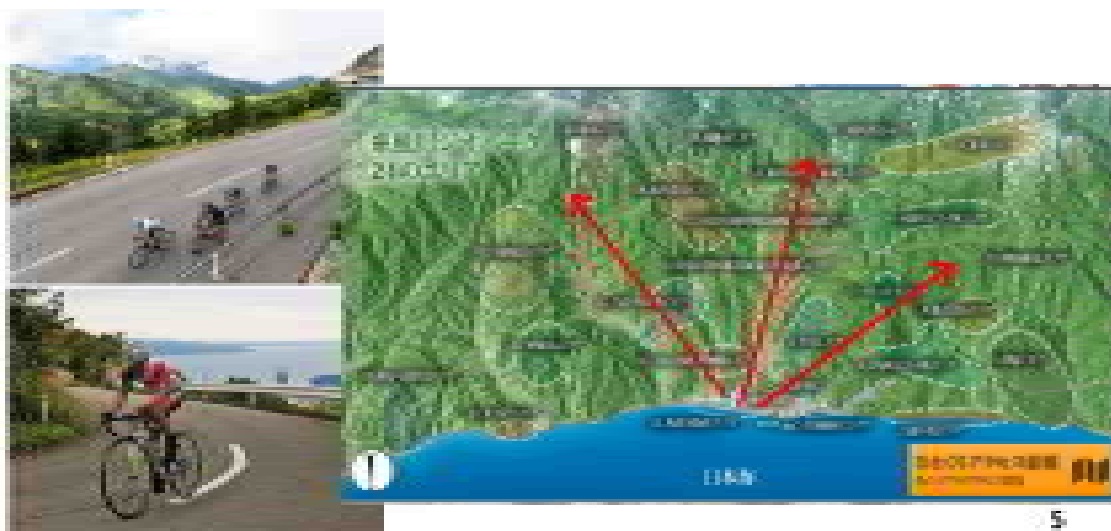
KCS

【概要】

- ・正真正正日本風、骨髄を走破した山々に覆われた糸通川市各地域を活用したコースです。
- ・単にヒルクライムできるというだけでは、国内に同様の地域は多数あるため差別化が難しいと考えられます。
- ・登り切ったあとの眺めや爽快感を楽しむとも言われており、登った先に何があるか、ということも打ち出していく必要があると考えられます。

【主なターゲット】

中級から上級者向け。



5

モデルルート案⑤「糸魚川ジオパークライドルート」

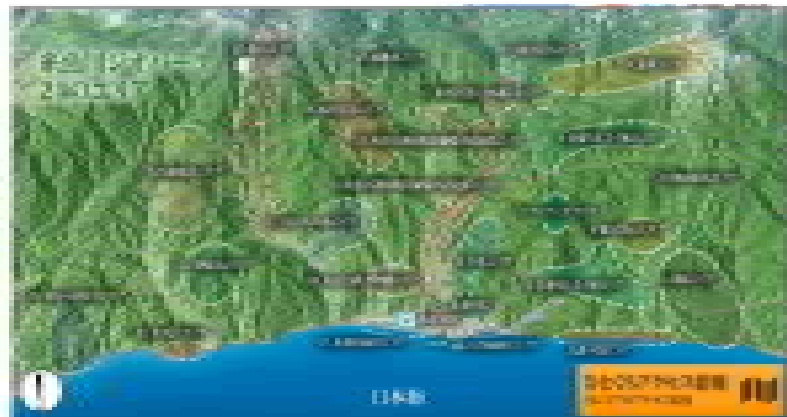
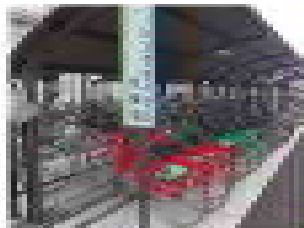


【概要】

- ・糸魚川市のジオパーク（ジオサイト）を回るルートです。
- ・糸魚川市内で完結することも可能です。
- ・既に「糸魚川市なかのレンタサイクル」があるため、特別な準備や装備は必要なく、地域にとっては容易に実現でき、旅行者にとっては手軽に楽しめるコースとなります。
- ・サイクリングそのものよりも、「糸魚川ジオパークを周遊する一つの手段」といった位置づけ（旅行者への「提案」）になると考えますので、これ単独での誘客可能性は低く見られます。

【主なターゲット】

サイクリング初心者、糸魚川を訪れた人へのプラスαの提案



6

3-1-5 モデルルート（案）

（１） モデルルート（案）①

<コース名（仮称）>

糸魚川駅からめぐる大地と古代のロマン巡りコース

<ターゲット>

初級サイクリスト、一般旅行者（レンタル自転車利用）

<特徴>

糸魚川駅をスタートゴールにした、ジオスポットと古代の歴史を感じられるコース

<行程>

【ルート】糸魚川駅 ～ 天津神社 ～ ヒスイ海岸 ～ 奴奈川神社 ～ 翡翠園 ～ 長者ヶ原考古館
～ フォッサマグナミュージアム～ 糸魚川駅

【距離】約 16.6km



（２） モデルルート（案）②

<コース名（仮称）>

高波の池 MTB・グラベル&秘湯コース

<ターゲット>

MTB・グラベルロードバイクユーザー、キャンプ・温泉好き旅行者

<特徴>

高波の池周辺の MTB・グラベルロードバイクで走ることのできる（オフロード+オンロードも合わせた）コースとキャンプを楽しめる楽しみ方を紹介。大地の恵みである「温泉」も楽しめる。

<行程>

【ルート】平岩駅 ～ 高浪キャンプ場（周辺） ～ 姫川温泉（しみ出し見学、入浴） ～ 平岩駅

【距離】約 18.1km



(3) モデルルート(案)③

<コース名(仮称)>

サイクルトレインでシーサイドライド&ジオスポット探訪コース

<ターゲット>

初級～上級サイクリスト、一般旅行者(能生駅レンタル自転車利用も想定)

<特徴>

サイクルトレインを活用しつつ、能生駅を中心に、久比岐自転車道を走行し、日本海を背後に山を駆けあがるコース。道の駅での食や秘湯も楽しめる。

*自転車をお持ちの方向けに、浦本駅を利用してシーサイド部分を長くすることも可能

<行程>

【コース】糸魚川駅～能生駅～弁天岩～白山神社～マリンドリーム能生・マリンミュージアム海洋・海の資料館越山丸～奴奈川姫の産所～島道鉱泉～神道山～長者温泉～五霊神社～能生駅～糸魚川駅

【距離】約36.1km(能生駅からの往復のみで列車区間含まず)



3-1-6 モデルルート

本業務で検討した3つのモデルルートを以下に示します。





3-2-1 現地調査の実施

3-2-1 調査概要

目 的	サイクルモデルルート造成のため、モデルルート（案）における魅力や受入体制等の確認のため実施しました。
手 法	自転車による実走を含む現地調査
日 時	令和4年9月15日（木）9:00頃～16日（金）17:00頃まで
調査員	（専門家）ティンバー・プラネット代表 星野 知大氏 （記録）株式会社ケー・シー・エス 佐野、石井
調査方針	糸魚川市におけるサイクリングに対する取組みは、始まったばかりです。このため、単なる良し悪しや有無だけでは、今後の取組に繋がりにくいと考え、サイクリング及びツーリズムの観点から「魅力的である点」や「魅力的になる可能性がある点」、最低限改善した方がよい点など定性的な部分を中心に調査しました。
調査内容	【調査ルート】 3-1-4 のモデルルート（3 ルート） （9/15）9:00 開始～16:30 終了 モデルルート案③及びモデルルート案①（一部） *能生駅 14:53→糸魚川駅 15:08 のえちごトキめき鉄道に乗車 （9/16）9:00 開始～16:30 終了 モデルルート案①（一部）及びモデルルート案② 【調査項目】 3-2-2 調査票のとおり

3-2-2 調査票

Abstract

總體情況	已獲證：1. 廣東省國家公務員考試中心（廣州） 已獲證：1. 廣東省國家公務員考試中心（廣州） 已獲證：1. 廣東省國家公務員考試中心（廣州）
總體情況	已獲證：1. 廣東省國家公務員考試中心（廣州） 已獲證：1. 廣東省國家公務員考試中心（廣州） 已獲證：1. 廣東省國家公務員考試中心（廣州）
總體情況	已獲證：1. 廣東省國家公務員考試中心（廣州） 已獲證：1. 廣東省國家公務員考試中心（廣州） 已獲證：1. 廣東省國家公務員考試中心（廣州）

100

項目	内容	実施状況
環境管理	環境方針	
	環境計画	
	環境教育・啓蒙	
	環境監査の実施	
	環境報告書作成	
安全管理	安全方針	
	安全計画	
	安全教育・啓蒙	
	安全監査の実施	
	安全報告書作成	

3-2-3 調査結果

(1) 9/15 (木) : サイクルトレインでシーサイドライド&ジオスポット探訪コース①

【基本情報】

調査ルート	☐ 案①：糸魚川駅からめぐる大地と古代のロマン巡りコース ☐ 案②：高波の池 MTB・グラベル&秘湯コース ☒ 案③：サイクルトレインでシーサイドライド&ジオスポット探訪コース
調査日時	☒ 令和4年9月15日(木) 9:00 ~ 10:30 ☐ 令和4年9月16日(金) : ~ :
調査箇所	☒ ルート上の走行路(筒石駅及び徳合集落付近) ☒ スポット(筒石駅、徳合集落、筒石・徳合ジオサイト、電柱島)

【調査項目】

視点	項目	調査結果
サイクリング	道路状況	◆全行程舗装された道であり、交通量も少ない。一方で、道が狭いため、注意が必要。 ◆海岸線から急登となっており、平坦な部分がほとんどなく、初心者向けとは言えず、上級者向けと考えられる。
	受入環境	◆各所に休憩できるスペースや、公衆トイレがある。 ◆サイクルスタンドや自動販売機はない。 ◆特に集落周辺は案内看板がないため、この付近を活用するにはマップ等での詳細な説明か案内看板の設置などの整備が必要
	サイクリスト目線で魅力的なところ	◆海岸線から一気に駆け上がるルートであり、「日本で最もきつい」というようなコンセプトで上級者向けのルート設定の可能性はある。
	その他特筆すべきこと	◆筒石駅はトンネル内にホームがあり、冒険感もあって面白い。
ツーリズム	資源概要	(筒石駅) ◆トンネル内にホームがあり、日本でも珍しく観光資源として活用可能性が高い。 (徳合集落) ◆徳合城址など、歴史的資源もあり、棚田など日本の原風景的な魅力がある。 (筒石・徳合ジオサイト) ◆地層が間近に見れるが、特徴的な箇所は見当たらない。 (電柱島) ◆もの悲しさが感じられつつ、写真スポットとしては魅力がある。 ただし、国道上からの見学のため安全確保が必要
	アウトドアならではの楽しみ	(特になし)
	二次交通	(筒石駅) ◆えちごトキめき鉄道の駅であるが、サイクルトレイン不可の駅であり、本ルートを訪れるには自家用車もしくは近隣から自走してくる必要がある。

	外国人対応	◆インバウンド対応しているものは見当たらない。
	その他特筆すべきこと	(特になし)



図 調査ルート



図 筒石駅下りホーム



図 徳合集落案内図



図 徳合集落の棚田



図 徳合ジオサイト



図 電柱島

(2) 9/15 (木) : サイクルトレインでシーサイドライド&ジオスポット探訪コース②

【基本情報】

調査ルート	☐ 案①：糸魚川駅からめぐる大地と古代のロマン巡りコース ☐ 案②：高波の池 MTB・グラベル&秘湯コース ☒ 案③：サイクルトレインでシーサイドライド&ジオスポット探訪コース
調査日時	☒ 令和4年9月15日(木) 11:00 ~ 16:00 ☐ 令和4年9月16日(金) : ~ :
調査箇所	☒ ルート上の走行路(道の駅能生付近、島道鉱泉・奴奈川産所までの経路) ☒ スポット(道の駅、越山丸、能生白山神社、弁天岩、島道鉱泉、奴奈川産所)

【調査項目】

視点	項目	調査結果
サイクリング	道路状況	◆基本的には舗装道で、久比岐自転車道及び自転車道から外れた道も安全に走行できる。 ◆久比岐自転車道に複数あるトンネルは、走行中のアクセントになってよい。 ◆島道鉱泉直前は極めて急な登り坂。奴奈川産所近くは砂利道で、ロードバイクでは通行が難しい。 ◆海岸線付近は平坦、能生駅から島道鉱泉方向は緩やかな登りのため、初心者でも走行可能
	受入環境	(道の駅) ◆レンタサイクル、サイクルスタンドあり。トイレ、食事施設などもあり、この周辺の拠点として活用可能 (その他) ◆案内看板も適当に配置されており、迷うことは少ないと思われる。 ◆その他、サイクリング受入に関する特別な整備等はない。
	サイクリスト目線で魅力的なところ	◆一部を除き、平坦または緩やかな勾配で走りやすく、初心者向けのルート設定が可能 ◆島道鉱泉直前の急登は、ルートのハイライトとしての活用可能性がある。(「笑ってしまう」くらいの急坂なので、ルート中のイベント的に盛り上げられる。)
	その他特筆すべきこと	◆能生白山神社は、拝殿が茅葺と珍しく、サイクリング中のアクセントになってよい。
ツーリズム	資源概要	(道の駅) ◆トイレ、食事場所などがあり、拠点となる。 ◆越山丸は展示のみのため、魅力は少ない。 ◆水産高校のアンテナショップがあり、おしゃれな食事が楽しめるなど魅力的 (能生白山神社) ◆4/24の大祭は、神輿や舞など魅力的で、インバウンドへの訴求可能性がある。 (弁天岩)

		◆能生白山神社の海岸側にあり、頂上まで手軽に登ることができ、日本海を正面に望める。 ◆トイレ、自販機もあるため、休憩場所としても活用できる。 (島道鉱泉) ◆非常に雰囲気のある施設であるが、事前予約が必須のため気軽に立ち寄れるところではない。 (奴奈川産所) ◆細い道の先、砂利道を少し走ったところにあり、パワースポット的な印象を受ける。
	アウトドアならではの楽しみ	◆島道鉱泉直前の急坂及び奴奈川産所直前の砂利道は、ちょっとしたアクティビティ感がある。
	二次交通	(能生駅) ◆サイクルトレインが可能な駅だが、一部に階段が残るなど、必ずしもサイクリストに優しい環境にはなっていない。 (サイクルトレイン) ◆現状では混雑状況にもよるが、1編成に2台程度しか乗れないため、グループでの利用は難しい。 ◆利用可能時間帯が9～15時のため、利便性が高いとは言えない。
	外国人対応	◆インバウンド対応しているものは見当たらない。 ◆能生白山神社は、茅葺と珍しいこともあり、インバウンド受けする可能性がある。
	その他特筆すべきこと	(特になし)



図 調査ルート



図 久比岐自転車道（能生白山神社付近）



図 道の駅マリンドリーム能生のサイクルスタンド



図 道の駅マリンドリーム能生のレンタサイクル



図 越山丸



図 能生白山神社



図 弁天岩（遠景）



図 弁天岩頂上からの眺め



図 島道鉾泉



図 奴奈川産所

(3) 9/16 (金) : 糸魚川駅からめぐる大地と古代のロマン巡りコース

【基本情報】

調査ルート	☒ 案①：糸魚川駅からめぐる大地と古代のロマン巡りコース ☐ 案②：高波の池 MTB・グラベル&秘湯コース ☐ 案③：サイクルトレインでシーサイドライド&ジオスポット探訪コース
調査日時	☐ 令和4年9月15日(木) : ~ : ☒ 令和4年9月16日(金) 9:00 ~ 12:00
調査箇所	☒ ルート上の走行路(糸魚川駅～谷村美術館～翡翠園～フォッサマグナミュージアム～糸魚川駅) ☒ スポット(ヒスイ海岸、ジオパル、谷村美術館・玉翠園、翡翠園、フォッサマグナミュージアム)

【調査項目】

視点	項目	調査結果
サイクリング	道路状況	◆よく整備された舗装道で、安全に走行できる。 ◆糸魚川駅周辺及び海岸線は平坦で、翡翠園周辺までは軽い坂道、フォッサマグナミュージアムまでは坂道が続く。 ◆糸魚川駅から久比岐自転車道の続く道には、路面上に案内が書かれており、非常にわかりやすい。
	受入環境	◆ジオパルではレンタサイクル(一般自転車、電動アシスト付き自転車、ロードバイク)の貸出を行っており、拠点となる。
	サイクリスト目線で魅力的なところ	◆谷村美術館など、周りからは想像できない建築物・庭園が広がるため、自転車で回ったからこそ見られてという特別感が味わえる。(車では近くを通ることも、通っても気づくこともないと思われる。) ◆フォッサマグナミュージアムから市内中心部へ向かう道は、日本海を目の前にするため、爽快感があって気持ちのよいルートである。
	その他特筆すべきこと	◆糸魚川市の特徴として、海岸線から一気に標高があがる地形のため、「海岸線に向かうとき」のルートは非常によい景観で爽快である。
ツーリズム	資源概要	(ヒスイ海岸) ◆ヒスイ探しはワクワク感のある体験だが、浜の幅が狭く、ファットバイクを使ったサイクリングには不向き。 (谷村美術館・玉翠園) ◆周辺からは想像できない魅力的な建築物・展示品・庭園が広がっている。翡翠園と合わせたセット券(大人800円)がある。 (翡翠園) ◆「歩いて回る」がコンセプトの翡翠を展示した施設。世界の翡翠を展示した博物館も併設 (フォッサマグナミュージアム) ◆小高いところに位置し、周辺は公園として整備されている。様々な設備が整っており、休憩場所としても活用できる。

	アウトドアならではの楽しみ	(特になし)
	二次交通	◆ジオパルではレンタサイクルが可能
	外国人対応	◆一般的なものの以外、特別な対応は行われていない。
	その他特筆すべきこと	◆坂道が続くところもあるが、ジオパークの資源に加えて芸術的魅力的な資源も点在しており、サイクリング初心者向けのコース設定が可能と思われる。



図 調査ルート



図 久比岐自転車道までの経路を示す道路標示



図 谷村美術館



図 玉翠園



図 フォッサマグナミュージアムから糸魚川市中心部への道

(4) 9/16(金) : 高波の池 MTB・グラベル&秘湯コース

【基本情報】

調査ルート	☐ 案①：糸魚川駅からめぐる大地と古代のロマン巡りコース ☒ 案②：高波の池 MTB・グラベル&秘湯コース ☐ 案③：サイクルトレインでシーサイドライド&ジオスポット探訪コース
調査日時	☐ 令和4年9月15日(木) : ~ : ☒ 令和4年9月16日(金) 13: ~ 16:30
調査箇所	☒ ルート上の走行路(糸魚川市役所～高浪の池～ヒスイ峡、根知駅～しろ池の森) ☒ スポット(高浪の池、ヒスイ峡、しろ池の森) ＊姫川温泉については、時間の関係上調査できませんでした。

【調査項目】

視点	項目	調査結果
サイクリング	道路状況	(国道148号線) ◆よく整備された舗装道であるが、交通量も多く、また覆道も多いため、安全性には課題が残る。少なくとも初心者には危険と思われる。 (県道483号線) ◆舗装はされているものの、センターラインがなく狭い。交通量はさほど多くないが、カーブもあり急登であるため、上級者向き。 (県道225号線) ◆舗装されており、道も広々としているが、しろ池の森付近になると狭くカーブも多い。このあたりは中級者以上向け。 (その他) ◆ヒスイ峡までの道など、狭くカーブの多い道も多いため、安全対策や下りでのスピード抑制などが必要と思われる。
	受入環境	◆高浪の池キャンプ場では、マウンテンバイクの貸出を行っており、今年度中には電動も導入されるとのこと。 ◆自転車向けの整備は特にない。
	サイクリスト目線で魅力的なところ	◆高浪の池キャンプ場周辺は、自然の中(未舗装)を走行する楽しみの開発可能性がある。 ◆明星山など、景観が非常によいため、キャンプとサイクリングをセットにした打ち出し方は魅力的と思われる。
	その他特筆すべきこと	◆高浪の池キャンプ場周辺は、アウトドアツーリズムに適した環境が整っており、活用可能性が高い。
ツーリズム	資源概要	(高浪の池キャンプ場) ◆よく整備されたキャンプ場で、食堂や売店もある。 ◆市街地から離れているため、星空が綺麗に見えるのではないかと。(ただし、霧の日が多いとのこと。) (ヒスイ峡) ◆明星山の絶壁を目の前に見ることができる。キャンプ場までの道はカーブも多く、坂であるが、自然の中を気持ちよく走行できる。

	(しろ池の森) ◆無料のキャンプ場で、整備もされているが売店などはない。 (その他) ◆根知駅近くに「豊穰蔵」があり、復路ここで試飲などしたあと、自転車を歩いて押して根知駅からサイクルトレインに乗車するルートも考えられる。(ただし、JR 大系線は通常はサイクルトレインを行っていないため、輪行が必要となる。)
アウトドアならではの楽しみ	(高浪の池キャンプ場周辺) ◆キャンプとサイクリングの両方が楽しめる環境である。 ◆坂道ではあるものの、電動アシスト付きであれば対応可能で、当地での滞在時間延長・新たな楽しみの提供の可能性が高い。
二次交通	◆JR 大系線はサイクルトレインを実施しておらず、輪行となる。
外国人対応	◆特別な対応は行われていない。
その他特筆すべきこと	◆高浪の池周辺は、イタリアのドロミテ渓谷に似た景色であり、この景観を味わえるのはこの地でのアウトドアならではのと言える。



図 調査ルート



図 高浪の池展望台



図 高浪の池キャンプ場



図 高浪の池キャンプ場のレストラン



図 ヒスイ峡

（５） 専門家レポート

現地調査に同行いただいた株式会社ティンバー・プラネット代表の星野知大氏のレポートを以下に掲載します。

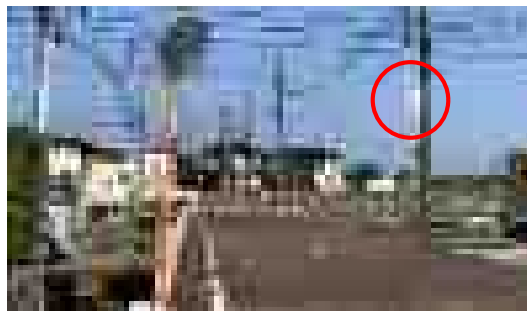
糸魚川市アウトドアツーリズム（現状認識）

①魅力

- ・サイクルトレイン、久比岐自転車道の整備が始まっている。
- ・ジオスポット＝大地の鼓動を感じる景色が広がる。
- ・山が海に迫り、ダイナミックなコース設定が可能である。
- ・舞楽が奉納される神社など、歴史的な魅力あるスポットが点在している。
- ・糸魚川駅まで新幹線でアクセスできる。

②気になった点と解決案

- ・山が海に迫っているため、一般観光客向けの簡単コースの設定が難しい。
→e-BIKE のレンタル普及で対応可能
- ・自転車や歩行者の視線の高さに道案内の看板がない。



- ・サイクルトレイン利用可能駅舎内においても階段で自転車を持ち上げる必要がある。



- ・「サイクルトレインマップ」に細かい距離や高低図がなく、走行プランを立てにくい。
- ・レンタサイクルでのサイクルトレイン利用が難しいため、利用者が限定されてしまう。
- ・北アルプス日本海広域観光連携会議の輪行袋貸し出しサービスの告知が不十分である。
- ・ジオスポットに設置された看板では一般的な説明が中心で、各スポットで見るべき詳しい見方などが表現されていない。

コース案①「サイクルトレイン&久比岐自転車道で楽しむ！日本海ひすいライン」

<https://goo.gl/maps/226ZPUTi6a6neZPy8>

糸魚川駅→（サイクルトレイン）→梶屋敷駅→【久比岐自転車道】→五霊神社→能生白山神社→弁天岩→マリンドリーム能生→能生駅→（サイクルトレイン）→糸魚川駅

●距離：17.6km ●獲得標高：267m

●ターゲット：サイクリスト初級～中級、（サイクルトレイン整備が進んだ後）一般旅行者

●内容：

サイクルトレインを利用し、久比岐自転車道を中心に走行するコース。糸魚川が誇る歴史・文化を伝える建造物や産業遺産を満喫できる。サイクルトレインの受け入れ整備が進むことで、一般観光客なども楽しめる可能性を秘める。



弁天岩／橋の手前で自転車を置き、徒歩で島に渡ることになるが、クリアシューズでは階段を歩きにくいことを地図などに記載が必要。また、スポーツ自転車の駐輪場所の指定がない（柵に寄り掛けてカギをかけることができるので必要ない？）。ジオスポットの看板があり、成り立ちなどが記載されているが、具体的な観察の仕方などの説明が必要ではないか。



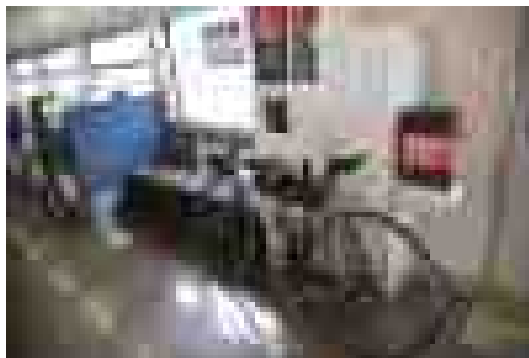
能生白山神社／国内客だけでなく、海外からの一般観光客・サイクリストに向けてPRする価値のあるスポット。春季大祭の舞楽などを見学するサイクリングツアーなどを実施するのがいいのではないか？



久比岐自転車道／コース途中にキロポスト表示を置き、サイクルマップには見どころポイントのキロポストを記載することで、観光ライドが楽しみやすくなる。



マリンドリーム能生／名物のズワイガニを中心に海鮮グルメを楽しめるスポット。サイクルスタンドもあり、立ち寄りやすさも魅力。レンタサイクルも用意されているので、この道の駅をスタート・ゴールに①-2、①-3 を楽しむことも可能。



能生駅／ホームまでの階段で自転車を担がないとまらないため、一般的な軽快車（ママチャリ）では利用が難しい。今後は観光用としてだけでなく、地域の移動手段としてサイクルトレインの利用も視野に入れることで、地域活性化につながるのではないかな。

コース案①-2「古代のロマンを感じるジオ歴史スポットを目指すヒルクライム&ハイキング」

<https://goo.gl/maps/iJGKoqUzqHVQ+YtP7>

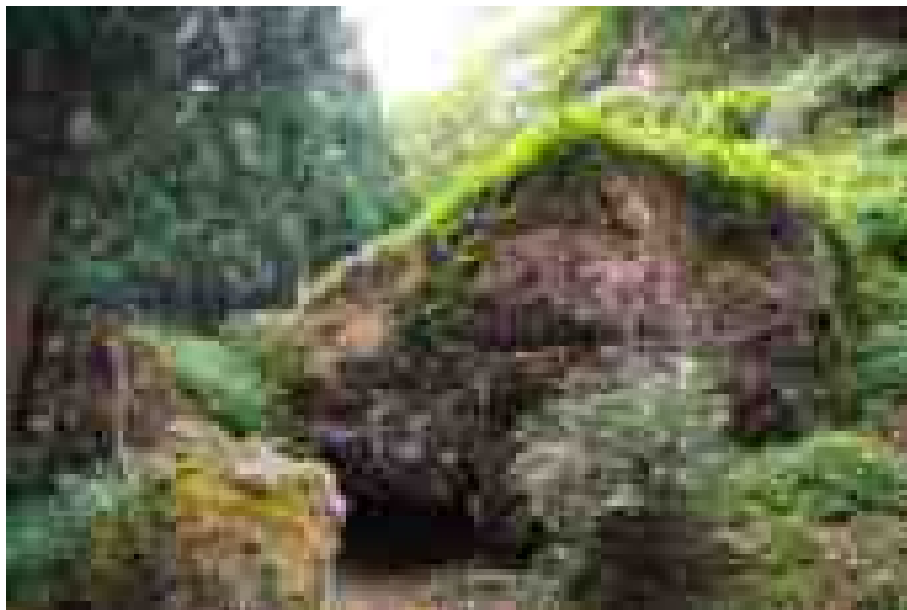
能生駅→奴奈川姫の産所→神道山→能生駅

●距離：25km ●獲得標高：567m

●ターゲット：サイクリスト初級～上級

●内容：

能生駅スタート・ゴールのヒルクライムルートを含んだコース。マリンドリーム能生で一般観光客がレンタサイクルを利用する際は電動アシストモデルの利用がおすすめ。奴奈川姫の産所、神道山では自転車から降りて軽いハイキングを楽しめる。



奴奈川姫の産所／神道山と合わせて奴奈川姫のゆかりの地であることを分かりやすく説明が必要。翡翠文学賞の紹介なども含めて、古代ロマンを感じることもできる仕掛けが必要ではないか？

コース案①-3「異世界に迷い込む？ トンネルの中にある珍しい駅と海に佇む電柱島探訪」

<https://goo.gl/maps/FZ2FvLLuJec7aEw48>

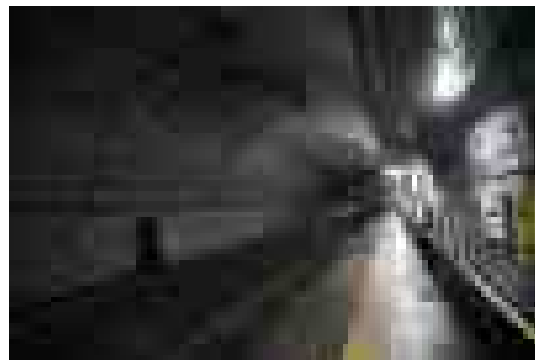
マリンドリーム能生→【久比岐自転車道】→電柱島→筒石駅→【久比岐自転車道】→マリンドリーム能生

●距離：約 14.6km ●獲得標高：120m

●ターゲット：サイクリスト初心～中級、（サイクルトレイン整備が進んだ後）一般旅行者

●内容：

マリンドリーム能生からさらに久比岐自転車道を走って、電柱島を眺めてから少し戻り、急な坂を上って筒石駅まで走るコース。①の糸魚川駅からサイクルトレインを利用するコースに追加や、①-2のコースも加えることで距離 50km を越すコース設定も可能に。



筒石駅／視察中にもトンネルの中にホームがある景色の撮影に訪れたサイクリストもいたように、サイクリング途中の立ち寄りポイントとしても紹介する価値のあるスポット。しかしサイクルトレインでの利用不可な点の周知が必要。



電柱島／自転車道からも見ることができるが、砂浜まで降りる場合は大きく遠回りが必要な点をサイクルマップなどに説明を加えることが重要。

コース案②「糸魚川駅発着。名建築・庭園と歴史的建造物をめぐる新しい社会科見学」

<https://goo.gl/maps/4DSdoGZFyWuqTFDc8>

糸魚川駅→谷村美術館→翡翠園→フォッサマグナミュージアム→美山公園水道塔絵展望台→天津神社・奴奈川神社

●距離：10.5km ●獲得標高：303m

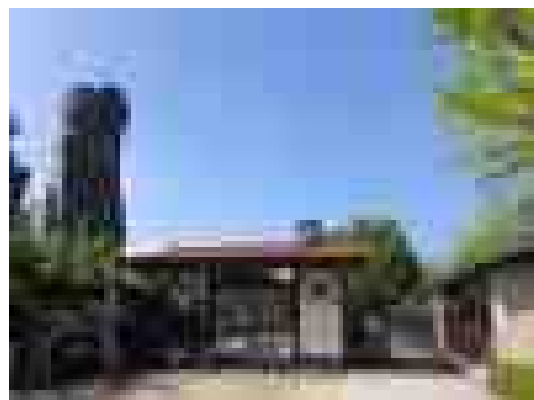
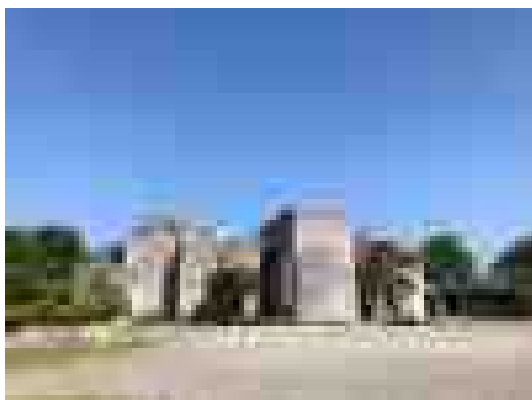
●ターゲット：一般旅行者（まちなかレンタサイクル利用）、サイクリスト初級～中級

●内容：

糸魚川駅をスタート・ゴールで、糸魚川駅ジオステーション ジオパルや谷村美術館、フォッサマグナミュージアムなど、大人でも楽しみながら学べるポイントをめぐるコース。フォッサマグナミュージアムまでの上りは少しハードだが、レンタサイクルに電動アシストモデルがあり、振り返った際の海を望める景色を紹介することで初心者にもオススメのコースとなる。



糸魚川駅ジオステーション ジオパル／自転車利用者に向けてもその魅力をもっとアピールした方がいいのではないかな。



谷村美術館／敷地の外からは想像できない魅力的な空間が広がっていることをもっとPRした方がいいのではないかな？ また入り口にサイクルスタンドはあるが、美術館内を歩く際、クリートシューズでは歩くにくいので、スリッパなどの用意が必要。



フォッサマグナミュージアムまでの上り／フォッサマグナミュージアムを単体で紹介するのではなく、そこまで辿り着く途中にある絶景ポイントを紹介することで、より多くの人に興味を持ってもらえるのでは？

コース案③「白き岩肌の“明星山”と神秘の色をたたえる“高浪の池”が織りなす絶景」

<https://goo.gl/maps/CNgHhQ4ekyBM735s7>

小滝駅→高浪の池展望台→高浪の池キャンプ場→ヒスイ峡フィッシングパーク→小滝川ヒスイ峡→小滝駅

●距離：約 25km ●獲得標高：755m

●ターゲット：サイクリスト中級～上級、（高浪の池レンタルサイクル利用）一般旅行者～キャンプ愛好者

●内容：

大系線の小滝駅をスタート・ゴールで走る本格ヒルクライムコース。大系線に自転車を乗せ雨場合は輪行袋の使用が必要。また、折り畳み式の e-BIKE「BESV PSFI」などと北アルプス日本海広域観光連携会議の輪行袋貸し出しサービスを活用すれば、サイクリング初心者でも楽しむことができる。さらに、車で高浪の池キャンプ場まで走り、MTB や e-MTB で現在整備中のオフロードコースを楽しむことができ、キャンプ愛好者までターゲットとすることが可能に。



高浪の池展望台／世界的な山岳リゾートとして知られるイタリアンアルプス・ドロミテの絶景を思い浮かばせるような美しい山容を眺められるスポット。ドロミテでは絶景を見るために世界各国からサイクリストが集うことから、PR の仕方次第ではこの絶景ひとつを求めて糸魚川を訪れる人が増えることが期待できる。



オフロードサイクリングコース／今後整備が予定されている e-MTB と合わせて、キャンプと合わせた BIKE & CAMP などの遊び方を提案することが可能に。

今後の方向性の提案

①「（自称）日本一キツイ！サイクリングコース」など特徴的なコースを設定して PR

●コース案

<https://goo.gl/maps/WooVxVm7Rahvnrme8>

<https://goo.gl/maps/bkioNxi337DesWCz6>

<https://goo.gl/maps/qxFsizx9XlXQsv9RA>

●距離：約 330km／累積獲得標高：9,320m

●内容：

3つのステージからなる糸魚川全体をまわるコース。3ステージを走り切れば、日本屈指のハードなレイアウト（四国一周が距離 1,000km で獲得標高 6,879m）。各ステージ途中の宿泊場所を記載し、数日間をかけて走る想定。ヒルクライムを上り切った先の折り返し地点に QR コードが書かれた看板などを設置し、走り切ったサイクリストに完走賞をプレゼントするなどの企画も同時に進めることで誘客効果を高めることができるのではないかと。

②e-MTB×キャンプ、e-BIKE×ジオスポットなどのクロスオーバーな楽しみ方を提案

③能生白山神社春季大祭の見学や e-BIKE での秘湯（雨飾温泉・白馬岳蓮華温泉）を目指すツアーを実施（将来的にはインバウンドも視野に）

④糸魚川市をまるまる楽しむことのできるアウトドア MAP を制作する

⑤スポーツサイクルとアウトドアを一つの会場で PR できる「サイクルモード大阪」の活用

3-2-4 まとめ

(1) 糸魚川市におけるサイクリングの現状

①ダイナミックな地形

中心部及び海岸線沿いを除き山が海に迫っており、平坦な場所が少なく、**サイクリング初心者向けのコース設定が難しい**のが現状です。一方で、**この地形的特徴は日本国内でも数少ない**と考えられ、中上級者向けのコース設定が可能と考えられます。

②不十分なサイクリング環境整備

久比岐自転車道を除き、サイクリングのための環境整備は十分ではありません。また、坂道が多いことから、今後整備する自転車は、**電動アシスト付きであることが必須**と考えられます。

サイクルトレインも今年度から始まったということもあり、駅構内の導線上にスロープがない、列車内で自転車を固定する器具がないなど、これから時間をかけて整備していくことが必要と考えられます。

③プラスαの多様な観光資源が存在

キャンプ場などのアウトドアに関する観光資源に加え、日本海の海の幸や海洋高校オリジナル食品などの「食」、谷村美術館や玉翠園などの「芸術」、能生白山神社や奴奈川産所などの「歴史・文化」、イタリアのドロミテ渓谷を思わせる「絶景」など、**この地でサイクリングする付加価値となる観光資源が豊富に存在**しており、これらとの組み合わせによる相乗効果が考えられます。

(2) コース設定の方向性

①能生周辺での初心者向けコース

能生周辺は、道の駅や海洋高校など、特に「食」に関する資源が豊富です。このため、久比岐自転車道とサイクルトレインを活用しつつ、周辺の観光資源も組み入れたサイクリング初心者向けコースの設定が望ましいと考えられます。また、道の駅もあることから、北陸新幹線のみならず、**自家用車利用の需要の取り込み可能性**も考えられます。

②市内中心部での初心者向けコース

新幹線によるアクセスが抜群であることから、**ジオパークを目的に訪れた観光客をターゲットに市内における回遊性向上**を狙った、サイクリング初心者向けのコース設定が望ましいと考えられます。また、公共交通機関利用者は時間に制限があるため、所要時間の目安を明確に示し、案内看板などもわかりやすいルート設定にすることが必要と考えられます。

③高浪の池周辺での中上級者向けコース

この地を訪れようとする人は、リピーターもしくはよほど強い興味をお持ちの方と想像されます。このため、糸魚川市における一般的な観光資源ではなく、**高浪の池周辺ならではの資源を活用したコース設定**が望ましいと考えられ、小滝駅からの本格的なヒルクライムやオフロードを含むなど、中上級者向けのコース設定が望ましいと考えられます。

3-3 検討会の開催

3-3-1 開催概要

目 的	本事業は、地域が次年度以降の取組みの方向性を検討する機会になるとも考えています。このため、モデルルートの検討や調査結果の共有だけではなく、地域が「今後具体的にどんなことをしていけばよか」といった点についても有識者からの意見も踏まえつつ検討しました。
手 法	原則として対面会議方式 ＊新型コロナウイルス感染拡大状況により、オンライン開催も検討します。
日 時	【第1回】 令和4年9月26日（月）11:00～13:00 【第2回】 令和4年11月2日（水）15:00～16:00
場 所	糸魚川市役所
参加者	①糸魚川市 ②糸魚川市観光協会 ③新潟県糸魚川地域振興局 ④糸魚川市のサイクルショップ ⑤有識者（株式会社ティンバー・プラネット 代表 星野 知大氏） ④北陸信越運輸局観光地域振興課（発注者） ⑤株式会社ケー・シー・エス（受託者）
議 題	【第1回】 ・業務内容の確認、現地調査結果の共有、有識者からの意見 ・モデルルートの検討と決定 【第2回】（サイクルツアーでのワークショップと同時開催） ・有識者及び外国人モニターによるサイクルツアー実施後の感想、課題と思う点、解決策の提案などの発表 ・解決案及び次年度以降の取組みに関する意見交換

3-3-2 有識者

本事業は、サイクリングの楽しみに加え、ジオパークといったツーリズムの観点でも知見を有する者である必要があると考え、株式会社ティンバー・プラネットの星野知大氏を招聘しました。

表 有識者プロフィール

	【氏名】星野 知大（ほしの ともひろ） 【所属】株式会社ティンバー・プラネット代表 【紹介】「サイクルモード」のディレクター、司会、「自転車×旅フェアゾーン」プロデュース、「日本サイクルツーリズムシンポジウム」発起人を務め、東京都三宅島・式根島の観光まちづくりアドバイザーに就任した経験を持ち、サイクル&ウォーキングマップ制作やサイクルツーリズム企画立案を多く手掛けています。また、伊豆大島（ジオパーク）のサイクリングMAP作成の実績も有しており、日本のジオパークでのサイクリングに高い知見を有しています。
---	--

3-3-3 第1回検討会

(1) 開催概要（次第）

中野市環境部北地域計画課企画課

「山梨川市のアウトドア（サイクル・キャンプ）ツーリズム振興計画」第1回検討会

次 第

【日 時】令和4年4月28日（月） 11:00～13:00

【場 所】山梨川地区民館 2 階多目的室

【議 事】

1. 挨拶（北地域環境部北地域計画課企画課長、山梨川市商工観光課）
2. 専門家の紹介（株式会社オンライン・プラットフォーム開発 星野 和久氏）
3. 趣意書の紹介
4. 策定内容の確認
5. 現地調査結果の報告
6. 外国人アンケート調査内容の検討
7. モデルルート及びサイクルツアー日程の検討
8. その他

【資 料】

資料1 趣意書

資料2 検討会資料（現地調査結果、外国人アンケート調査計画、モデルルート及びサイクルツアー開催に関するもの）

資料3 参加者名簿

(2) 参加者

令和4年度国土地域動向調査事業

「高知市自治アワード（サイナル・キャンプ）テーマ上野由調査」第1回検討会

参加者名簿

所属先	役職等	氏名（敬称略）
高知市役所	産業部 商工振興課 交流振興係 主事	横川 雅夫
一般社団法人高知市観光協会	企画課 課長補佐	岡田 一夫
CPCL 468 301 伊藤商会		伊藤 達也
高知市こしあき隊		竹田 晋也
株式会社ティンバー・アライネット	代表	星野 英夫 (オンライン)
北勝信越運輸	総支配 高知地域振興課 課長	志保 高弘
北勝信越運輸	総支配 高知地域振興課 地域第一係	松本 孝太
株式会社ケー・シー・エス	企画創造本部 主任	石井 浩之
株式会社ケー・シー・エス	北勝支店 支店長	佐野 正
株式会社ケー・シー・エス	北勝支店 主任	星野 博一

(3) 議事要旨
議題 1～3 (省略)

議題 4. 業務内容の確認

意見なし

議題 5. 現地調査結果の報告

意見なし

議題 6. 外国人アンケート調査内容の検討

- ・対象の外国人の属性がわかっているのであれば、旅行に関する部分を入れてはどうか。例えば移動手段や嗜好など、旅行先を選ぶ時のベースとなる部分の設問を追加してはどうか。
- ・そもそも回答者はジオパークの事を知っているのか疑問。
 - 糸魚川のジオパークについてはURLを添付しているが、あくまでも糸魚川のジオパークについての説明。ジオパークを知っているか、行ったことがあるか等を確認する項目を追加する。
- ・アンケートの回答者は、糸魚川市を知っているのか。
 - 糸魚川を知らない可能性が高い。調べる人もいるかもしれないが、糸魚川を知らないのが前提で知らない人向けの調査。
- ・アウトドアツーリズムに絞られているので、観光するのに何を重要視するのか追加して欲しい。もし追加できるのならば、糸魚川（地名）を知っているか、認知度を確認する設問も追加して欲しい。
 - 了解した。
- ・意識している国は、台湾、オーストラリアの他、スイスも含めてもらいたい。
 - スイスは少ないかもしれないが、台湾、欧米豪を多めに対応する。
 - スイスなどアルプス圏の方はeマウンテンバイクで観光しているので、充分ターゲットになる可能性はある。
 - スイスは、コロナの影響で来なくなっていたが、来月11日から糸魚川も組み込まれたツアーが再開するので、興味を持ってもらえる。
- ・スイスからは、どれくらいの方がくるのか。
 - インバウンドそのものの数は少ないので数は多くないが、スイスの割合が多い。年間100人くらい。

議題 7. モデルルート及びサイクルツアー日程の検討

- ・奴奈川姫の産所など、どのような人（バイク）をターゲットにするのが難しいところだと感じる。
- ・グラベルが、今後伸びてくると思う。その時にどこまで自転車を活かせるかが問題だが、ターゲットにはなる。また、最初から最後までサドルの上で完結するものもあれば、自転車を置いてハイキングを楽しむことをターゲットに設定するものも良いかと思っている。
- ・ほぼeバイクのコースが出来上がる。eバイクを外した時に、どのようなコースができるか考えた時に両極端なコースなので、コース取りが難しい。また、途中まで行って往復ではなく周回で回りたい。ルート上に行きたいところが無いといけない。
- ・目指すところに、何か求めるものが無いとサイクリストとしては厳しいので、その点も考慮して設定した方が良いかと思う。

- ・10月にサイクリング+アクティビティなどの方を対象にツアーを予定している。2名程度、日程が合えば一部でも参加させたいと思っている。
- ・上級者はグラベルをやりたい人が多く、コースの有無について質問を頂くので、ニーズは高いと思っている。
- ・ツアーのアンケートを予定しているので、無ければ使わせて頂きたい。
- ・ツアーは、「人を呼んで何ができるのか」を探してもらおうと思って実施。
- ・ツアーコースの選定を考えている中で、似たようなコースだったので、その人達が行きたいコースで日程が合えば参加してもらっても良いと思っている。
- ・インバウンドを対象とした場合、ガイドは不可欠になると思うが、糸魚川市内で、サイクルができて、ガイドができる方がいるか。
 - いない。
- ・外国語ができる方はいるか
 - ガイドのメンバーの中にはいない。現状では、翻訳機を持たせてやっている。
 - 自転車ではないが、山のガイドならいる。新しくつくるのは大変なので活用してはどうか。
 - 外国人の方を対象とした場合、ガイドは不可欠になると思うので、今後、見つけて頂ければと思う。

3-3-4 第2回検討会

(1) 開催概要（次第）

中野区子育て支援地域ネットワーク事業

「由良川水のアウトドア（サイタル・キャンプ）ファミリー学習調査」調査員検討会

次 第

【日 時】令和4年11月2日（水） 14:45～16:15

【場 所】由良川児童会館3階会議室兼研修室

【参 加 者】

1. 開会
2. サイタルツアーの結果（説明）
3. 基礎資料の整理（既読調査・外国人アンケート調査）結果
4. 2・3を踏まえた今後の対応策について意見交換
5. 報告会関係書類
6. その他

【資 料】

資料1 調査員検討会資料（サイタルツアー調査計画、既読調査整理結果、外国人アンケート調査結果、報告会関係書類）

資料2 参加者名簿

(2) 参加者

令和4年度観光地域観光推進事業

「旅風田舎を歩くマップ（おひる・キャンプ）カーニバル巡回開催」 観光地域観光アドバイザー

参加者名簿

組織名	役職名	氏名（敬称略）	出席		
			観覧者	アドバイザー 1回目	アドバイザー 2回目
本庄の森会館	会館長 奥本健太郎 文化観光課 主事	奥本 健太郎	○	○	○
一畑刈原山温泉ホテル観光協会	会館長 関根博隆	関根 一馬	○	○	
新大塚温泉観光協会	会館長 関根 正樹	関根 正樹	○	○	○
刈原山こしあけ館		関根 正樹	○	○	○
観光会館アドバイザー（アドバイザー）	会館長	関根 健太郎	○	○	○
フリージャーナリスト		フリージャーナリスト	○	○	○
大塚温泉観光協会	会館長 関本健太郎 文化観光課 主事	関本 正樹	○	○	○
大塚温泉観光協会	会館長 関本健太郎 文化観光課 主事	関本 正樹	○	○	○
大塚温泉観光協会	会館長 関本健太郎	関本 正樹	○	○	○
観光会館アドバイザー（アドバイザー）	会館長 関本 正樹	関本 正樹	○	○	○
観光会館アドバイザー（アドバイザー）	会館長 関本 正樹	関本 正樹	○	○	○

(3) 議事要旨
議題 1 (省略)

議題 2 (省略) *直前のワークショップにて共有済みのため。

議題 3 基礎資料の整理結果

- ・設問 10 の「林道」とはどのような道を想定しているのか。
 - forest road だと、高浪の池とヒスイ峡の道（舗装道）などは「林道」と感じる。（フィービー）
- ・自然に近いところで楽しみたいというニーズが大きいと感じた。
- ・サイクリング推進を地域経済への効果に繋げたいと思うが、何か事例はあるか。
 - 食や宿泊に繋げるのが必要と思う。スタンプラリー的なことでもいいかもしれない。
 - 朝や夜など「この時間だけ」という楽しみがあると、滞在する理由になる。例えば電気を一切消した「漆黒の闇」など。
 - 光の無いナイトツアーが精神的に良いということでは売り出している事例もある。

議題 4 今度の方向性（案）

- ・本検討会での意見や直前に実施したワークショップ（意見交換）での意見を踏まえ、大きく以下のように 3 つにまとめられる。具体的な部分は、今後検討していく必要があるが、このような方向性を柱に検討していくことが望まれる。
- ①他の差別化が重要であり、特徴的な地形やジオパークを活用しつつ取組んでいく。「日本一キツイ系魚川」「日本のドロミテ」といったストーリーづくりを行う。
 - ②しっかり情報を発信していくことが重要。そのためにはターゲット像を踏まえた内容や手法であることが必要。
 - ③サイクルラックやサインなどのハード整備は、外部意見も取り入れつつ粛々と進めていく。

議題 5 報告会の開催

意見なし

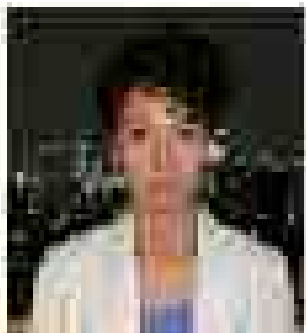
4. サイクルツアー・視察及びワークショップの開催

4-1 サイクルツアー・視察の実施

4-1-1 実施概要

目 的	モデルルートの検証及び課題抽出や解決案の検討のため、実施します。
手 法	サイクルツアー
日 時	令和4年11月1日（火）～11月2日（水）（1泊2日）
参加者	【被招請者】 （専門家）ティンバー・プラネット代表 星野 知大氏 （在日外国人）Phoebe Amoroso（フィービー・アモロソ）氏 【地域関係者】 糸魚川市商工観光課 糸魚川市観光協会 糸魚川市地域おこし協力隊 【事務局】 北陸信越運輸局観光地域振興課 株式会社ケー・シー・エス
行程概要	【1日目】 （終日）能生周辺及び高浪の池周辺のモデルコースを試走 【2日目】 （午前）糸魚川市中心部のモデルコースを試走 （午後）試走の感想など意見交換（ワークショップ）、ここで出た意見を踏まえ、そのまま第2回検討会を開催

表 在日外国人プロフィール

	【氏名】 Phoebe Amoroso（フィービー・アモロソ） 【所属】 フリージャーナリスト 【国籍】 イギリス 【紹介】 ケンブリッジ大学在学中に大和日英基金の奨学金で2014年に来日。NHK ワールド、Feature Story News 東京支局勤務などを経て、現在に至る。食や文化に造詣が深く、日本酒に関する認定も取得しています。趣味はサイクリング、ハイキング、トレイルランニング、自然の魅力が感じられる場所へ行くこと。食いしん坊。
---	--

4-1-2 ツアー行程

サイクルツアーの行程は下表のとおりです。なお、1日目は能生駅周辺で昼食後にサイクルトレイン乗車予定でしたが、機材トラブル等の発生により遅れたため、梶屋敷駅まで自転車にて自走し、レンタカーへ積み込んで糸魚川市中心部へ移動することとしました。

表 行程表

日付	時間		移動手段	走行距離	場所
	着	発			
11/1 (火)		8:00			スーパーホテル上越妙高駅西口
			レンタカー	28.4	
	8:35	8:55			筒石駅 (8:44発直江津行き)
			レンタカー	6.1	(徳合集落経由)
	9:10	9:20			徳合ジオサイト (見学)
			レンタカー	7.3	
	9:30	10:00			道の駅マリンドリーム能生 (見学・自転車に乗り換え)
			自転車	2.1	
	10:10	10:30			能生白山神社 (見学)
			自転車	0.3	
	10:35	10:50			弁天岩 (見学)
			自転車	3.3	
	11:05	11:15			五霊神社 (見学)
			自転車	6.5	
	11:30	11:40			梶屋敷駅
			レンタカー	4.4	
	12:00	13:00			昼食 (糸魚川市中心部)
			レンタカー	20.9	
	13:50	—			高浪の池キャンプ場 (eMTB)
11/2 (水)			自転車	6.5	(展望台～キャンプ場～ヒスイ峡)
	—	16:30			高浪の池キャンプ場
			レンタカー		
	17:10				ルートイン糸魚川
		8:40			ルートイン糸魚川
			レンタカー	1.2	
	8:45	9:00			糸魚川駅南口 (自転車に乗り換え)
			自転車	0.8	
	9:10	9:25			天津神社・奴奈川神社 (見学)
			自転車	2.1	
	9:45	10:15			谷村美術館・玉翠園 (見学)
			自転車	1.0	
	10:30	10:45			翡翠園 (見学)
			自転車	3.5	
	11:15	11:45			フォッサマグナミュージアム (見学)
			自転車	3.7	
	12:05	12:55			糸魚川駅。到着後、昼食へ。
			レンタカー		
	13:00	16:30			糸魚川市民会館3階会議室兼研修室 (ワークショップ、第2回検討会)
			レンタカー		
	16:35	17:01			糸魚川駅
			新幹線		(はくたか570号)
	19:12				東京駅

4-1-3 視察のポイント

糸魚川市におけるサイクリングに関する取組みは、途上にあるものと理解します。このため、受入環境といった視点で検証しても、有効な結果はもたらされないと考えます。

以上より、今回のサイクルツアーにおいては「サイクリスト視点で魅力的と思えること」と「ツーリズム視点で魅力的と思えること」を洗い出すことに注力し、この結果を整理することで、次年度以降の取組に活用できることを目的に、視察のポイントを設定し、参加者と目的を共有、意見交換会（ワークショップ）においても、これらのポイント毎に議論を行います。

【視察のポイント】

①サイクリスト視点で魅力的と思えること（ソフト）

（例）ロングライド、ヒルクライム、差別化が図れそうなサイクル資源 など

②ツーリズム視点で魅力的と思えること（ソフト）

（例）自転車だからこそできる観光地巡り、観光に自転車を取り入れることのメリット、アウトドア・食・文化・景観などの観光資源 など

③①・②の魅力を高めるために必要と考えられる環境整備（ハード）

（例）案内看板、マップ、レンタサイクルの車種 など

④糸魚川市におけるサイクリングを中心としたアウトドアツーリズムの売り出し方（ソフト）

（例）〇〇を全面に出す、〇〇を使ったプロモーション、〇〇をターゲットに など

4-1-4 実施結果

- (1) 1日目（筒石駅～特合ジオサイト～道の駅マリンドリーム能生～能生白山神社～弁天岩～五霊神社～梶屋敷駅）



<モニターの意見>

- ・トンネルの中にある特殊な駅で、アドベンチャー感があって面白い。
- ・ツアーの途中にこのような場所に来ると、変化があっていいかもしれない。



<モニターの意見>

- ・解説板に英語も併記されているので、内容は理解できる。
- ・ここだけを見ても、他との繋がりがわからないので、興味は持ちづらい。



<モニターの意見>

- ・コンビニやトイレがあり立ち寄る価値がある。ジオパークの解説板があり、わかりやすい。

道の駅マリンドリーム能生（出発時）



<説明>

- ・ここで参加者全員が集合し、改めて内容等確認してサイクルツアーに出発しました。

能生白山神社



<モニターの意見>

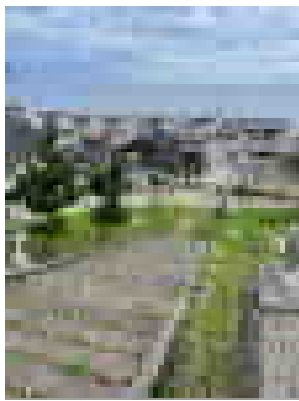
- ・茅葺屋根は特徴的で、印象的な写真が撮れる。
- ・英語による詳しい説明があるといい。

弁天岩



<説明>

- ・時間の都合上、解説板の確認や弁天岩頂上へは行きませんでした。

五霊神社	
	

<モニターの意見>

- ・眺めが非常によく、ゆっくりしたくなる場所

梶屋敷駅
(画像なし)

<モニターの意見>

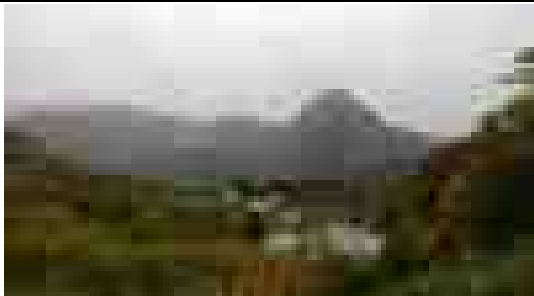
- ・ヨーロッパでは、列車に自転車を載せることは当たり前のことなので、日本では珍しいことだと聞いて驚いた。
- ・階段があるなど、自転車を載せるのに障害があるので、改善した方がいい。

昼食（糸魚川ブラック焼きそば・セメントラーメン）
(画像なし)

<モニターの意見>

- ・ブラック焼きそばはイカ墨を使っているようで、イカ墨パスタに似ていて面白い。
- ・その土地土地の食を体験するのは、旅行で重要な要素だと思う。

(2) 1日目（高浪の池～ヒスイ峡）

高浪の池	
	

<説明>

- ・今年度整備された eMTB を借用し、ヒスイ峡へのダウンヒル（ヒルクライム）を体験しました。

<モニターの意見>

- ・イタリアのドロミテ渓谷に似ていて、日本ではないように感じる。
- ・紅葉が非常にきれいで、時期により見せる姿が違うのもリピーター化に繋がる要因になる。
- ・星空も綺麗に見えるだろうから、夕方から暗くなるまでいて、焚火があると神秘的



<モニターの意見>

- ・素晴らしい渓谷美が見られ、来る価値のある場所
- ・登り坂も楽に登れるので、楽しい。
- ・舗装道だけでなく、オフロードも楽しめると、中級から上級者にも十分対応できる。

(3) 2日目(糸魚川駅～谷村美術館・玉翠園～翡翠園～フォッサマグナミュージアム～水道塔展望台～糸魚川駅)



<説明>

- ・糸魚川市観光協会（駅併設）にてレンタサイクルを借用しました。ロードタイプだけでなく、軽快車タイプを取り入れ、それぞれの乗り心地も検証しました。

<軽快車タイプの感想（地域おこし協力隊・竹田氏）>

- ・思っていた以上に「使える」と感じた。
- ・街中で発進と停車が多く、買い物など重い荷物を積載する環境に適応するため、発進性能が高いと感じた。

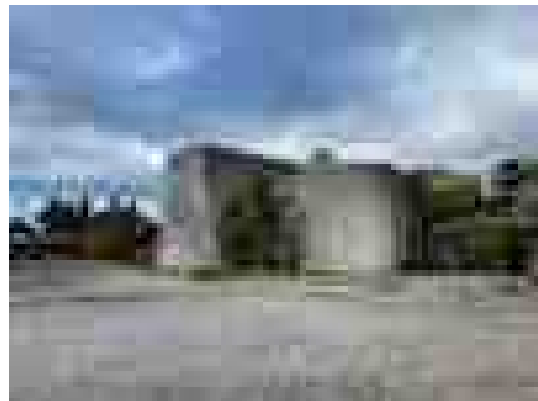
経路途中（糸魚川駅～谷村美術館）



<説明>

- ・ 自転車が守るべき交通ルールを遵守し、安全確保に努めました。
- ・ 案内看板の高さなど、星野氏より説明いただきながら進行了しました。

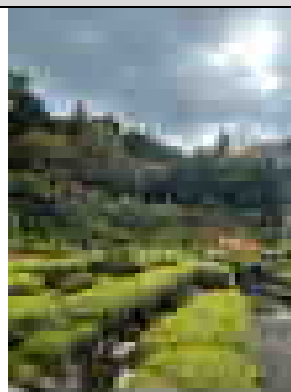
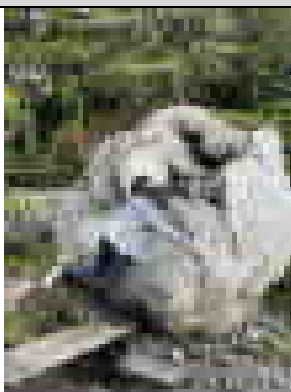
谷村美術館・玉翠園



<モニターの意見>

- ・ 周囲からは気づかないところに素晴らしい展示があり、特別感がある。
- ・ ティールームがあるようで、このようなところで休憩するのがいい。

翡翠園



<モニターの意見>

- ・ ヒスイというものがどのような価値があるのかわからないと、ただの石に思ってしまう。
- ・ 庭園は日本らしさがあり、外国人にはいいと思う。

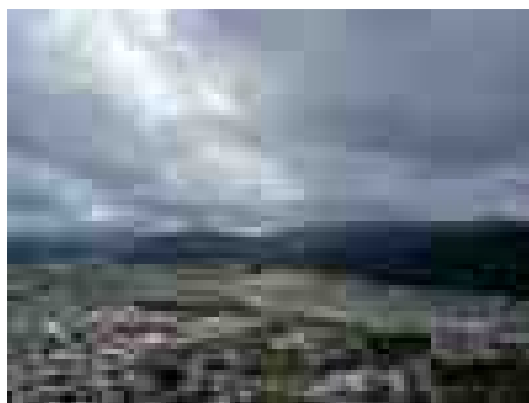
北陸道近くの急坂（翡翠園～フォッサマグナミュージアムの途中）



<モニターの意見>

- ・eMTB なら何とか登れるが、普通の自転車では到底無理な急坂だが、こういう場所がルート上に少しあると、全体が盛り上がると思う。
- ・ちょっとしたことではあるが、達成感を感じる。

フォッサマグナミュージアム・水道塔展望台



<モニターの意見>

- ・ジオパークのことや、糸魚川市中心部が一望できる場所なので、ルートのはじめに来ると、概要が掴めていいと思う。
- ・今回のルートは、ここを初めに訪れるようにしてはどうか。

糸魚川駅（到着時）



4-2 ワークショップの開催

4-2-1 開催概要

目 的	本業務は、糸魚川市におけるサイクリングを中心としたアウトドアツーリズムの課題抽出・解決案の提案などを通じ、次年度以降の受入環境整備や情報発信に繋げることを目的としました。 このため、次年度以降「具体的にどんなことを考えていけばよいか」が明確になることを目的に、ワークショップ（意見交換会）を実施しました。
手 法	ワークショップ（意見交換会）
日 時	令和4年11月2日（水） 13:00～14:30
場 所	糸魚川市民会館3階会議室兼研修室
参加者	【サイクルツアー参加者】 （専門家）ティンバー・プラネット代表 星野 知大氏 （在日外国人）Phoebe Amoroso（フィービー・アモロソ）氏 【地域関係者】 糸魚川市商工観光課 糸魚川市観光協会 糸魚川市地域おこし協力隊 新潟県糸魚川振興局地域振興課 【事務局】 北陸信越運輸局観光地域振興課 株式会社ケー・シー・エス
議 事	以下の点について、サイクルツアー参加者に質問し、回答及び回答に対する質疑応答を行う形で進行了ました。 ①サイクルツアーの感想 ②サイクリスト視点で魅力的と思えること（ソフト） ③ツーリズム視点で魅力的と思えること（ソフト） ④①・②の魅力を高めるために必要と考えられる環境整備（ハード） ⑤糸魚川市におけるサイクリングを中心としたアウトドアツーリズムの売り出し方（ソフト） ⑥糸魚川市におけるアウトドアツーリズムに関する今後の方向性（案）

4-2-2 参加者

＊第2回検討会参加者と同様のため省略

4-2-3 まとめ

(1) フィービーさん

<感想>

- ・地域の全体像を先に知ってから回った方が、理解が進むと思う。特にジオパークなど、ジオスポットだけを見るよりも、フォッサマグナミュージアムで全体を知ってから個々の資源を見た方がよいと思う。
- ・谷村美術館や庭園など、とても良いものだった。非常にポテンシャルのある地域だと思う。

<ツーリズム視点>

- ・東京に住んで7年になるが、新潟にはあまり来ない。長野に目がいってしまう。新潟はお米が美味しいというのは、日本では当たり前だが、外国人にはそのような知識もないし、説明しても理解できないと思う。

<ハード整備>

- ・英語の情報が少ないように感じた。

(2) 星野さん

<感想>

- ・他との差別化をどのように図っていくか、課題であると思う。糸魚川に来る意味を見出す必要がある。
- ・eMTBを使うと、今までよりも幅広いターゲットが考えられる。これをチャンスと捉えてみるべきと思う。このような流れもあり、未舗装道が注目されている。自転車道の整備という、どうしても舗装したり、ラックを設置したりすることに目がいきがちであるが、そうではない様々な楽しみ方に注目するのも良いと考える。

<サイクリスト視点>

- ・「ジオパーク＝素晴らしい景観がある」ということに繋がるような仕掛けが必要だと思う。難しい説明ばかりでなく、楽しませる仕組みを考えることも必要と思う。
- ・せっかく素晴らしい景色があるのだから、もっと世の中に知らせるべきと思う。

<ツーリズム視点>

- ・ジオスポットやその他の資源をうまく組み合わせて、ターゲットに合わせたストーリーづくりが必要ではないか。

<ハード整備>

- ・看板の位置が高いのが気になる。普段の生活では気づかない点に気を付けていくことが必要
- ・久比岐自転車道は、元々鉄道路線だったこともあり、生活圏を通過するようなコースになっている。交差点にポールを設けるなどしているが、直前にあえてカーブを設けるなど、減速させるための工夫は他にもあると思う。また、欧米などでは自転車道を歩行者は通ってはいけない。

(3) 意見交換

- ・特に外国人はガイド付きツアーが重要ではないかという意見があるが、どう思うか。各スポットにQRコードを設置して、それを読み込む方式などあると思う。(竹田)
 - 自分はガイドをあまり利用していない。紙のガイドマップなどよりも、デジタルが良いと思う。(フィービー)
- ・酒蔵巡りが好評だったので、後で受け取れるようなサービスがあるといいかと思うが、何か前例などあるか。(竹田)
 - サポートカーに載せたり、後日送ったりという方法があると思う。(星野)
 - 酒蔵巡りは面白いと思う。簡単にタクシーを使えるなどしたらいいのではないか。(フィービー)
- ・輪行袋の貸出サービスをもっとPRすべき。(星野)
 - 10月までで、今年の実績はゼロである。令和元年は40件ほどの利用があったようである。(横川)
 - PRはターゲットによるが、サイクリストであればサイクルショップがいいと思う。サイクリストは、ショップオーナーに付いていることが多い。(星野)
- ・看板の位置が車向けのため、高すぎるように感じるが、同行された皆さんはどうか。(星野)
 - 自転車に乗っていると気づかない。特に初心者だといろいろ見る余裕がない。(松井)
- ・市ではサイクルマップを今年度作成する予定である。ヒスイやジオパークで押していきたいと思うが、海外の方はどう感じるか。(横川)
 - この地域では石灰岩が採れて、それがセメント工場に繋がっていて・・・というような地域の産業との繋がりがあがあると思う。それがわかるようなストーリーはできないだろうか。(フィービー)
 - 直感的にわかりやすい、「石の色」に注目するなどはどうだろうか。(星野)

5. 報告会の開催

開催概要

目 的	本業務で実施した結果や抽出された課題、様々な解決案などを報告し、今後の取組み機運醸成を狙ったものとします。
手 法	セミナー形式
日 時	令和5年1月20日（金） 13:30～15:00
場 所	糸魚川市役所 201・202 会議室
参加者	【地域関係者】 糸魚川市役所、サイクルショップ、道の駅、キャンプ場などの関係者 ＊今後、地域を巻き込んだ取組みとするため、対象はあまり絞らず、広く参加していただくことを想定しています。 【事務局】 北陸信越運輸局、KCS
次 第	1. 開会 2. あいさつ（北陸信越運輸局、糸魚川市） 3. 有識者紹介 4. 業務概要（目的や流れ）の説明 5. 調査結果の報告 6. 質疑応答 7. 糸魚川市のアウトドアツーリズムに対する期待（ティンバー・プラネット 星野さまより） 8. 閉会 ＊司会進行・記録は、KCS が行います。
資 料	写真・動画や図表を用いるなど、パワーポイントを使ったわかりやすい資料を作成します。（15 ページ程度）

令和4年度観光地域教育調査事業

「奈良県内のアウトドア（サイクリング・キャンプ）ツーリズム観光調査」成果報告会

次 第

【日 時】令和4年1月20日（金） 13:30～15:00

【場 所】奈良県庁第201・202会議室

【議 事】1. 開会

2. あいさつ（気持好温暖事務局、奈良県庁）

3. 組織紹介

4. 調査概要（目的や流れ）の説明

5. 調査結果の報告

6. 質疑応答

7. 奈良県内の子育てファミリー層に対する調査（アンケート・インタビュー）
説明などより）

8. 閉会

【費 料】資料1 成果報告会資料

資料2 参加費未定

オンライン参加の流れ

- ・ZoomURLは <https://us02zoom.us/j/98147782300> となります。
- ・13:30頃より入室できるようにお願いいたします。
- ・報告会中は、ミュート及び画面オフにしてください。
- ・「ふ、質問の巻」においてご発言される場合は、挙手機能を使い、司会者からの指示を待ってミュート解除し、ご発言ください。
- ・時間（現地会場）及びオンラインのハイブリッド開催となりますが、現地会場での参加を優先しますので、オンライン参加の方のご要望にお応えし切れない可能性がありますこと、ご了承ください。

令和４年度観光地活性化推進事業

「ふるさと観光フェア（サミット・キャンプ）「サマーふらっと旅博」 企画推進費

参加者名簿

団体名	役職等	氏名（敬称略）	参加形態
山形県市町村観光工務会連	理事長	森上 洋子	現地
山形県市町村観光工務会連	会長	藤川 博典	現地
山形県観光協会	理事長	岡田 一貴	現地
秋田県こいさぶろくボランティア協議会	会長	宮田 博和	現地
秋田県上郷地域振興会東成川地域振興会	地域振興会	高田 徹	オンライン
秋田県上郷地域振興会市川地域振興会	地域振興会門会	佐藤 孝	オンライン
秋田県山形川地域振興会地域振興会	会長	遠藤 裕生	現地
上郷市観光交流推進会	会長	山崎 寛典	オンライン
北陸信越運輸振興観光部観光地地域振興課	課長	笠原 高弘	現地
北陸信越運輸振興観光部観光地地域振興課	地域部一係長	山田 博人	現地
北陸信越運輸振興観光部観光地地域振興課	係長	松村 孝太	現地
株式会社ディンバー・プロジェクト	代表取締役社長	道野 昭次	オンライン
株式会社ナース・ホーム看護福祉	代表取締役	佐野 正	現地
株式会社ナース・ホーム介護福祉	会長	佐野 浩士	現地

議題 1 ～ 5 ・ 7 ・ 8 （省略）

議題 6．質疑応答（参加者の感想含む）

- ・ 本事業を通して、市内においてサイクルツーリズムを行う上での道路空間上の問題はあるか。
 - サイクリングする環境としては、幅員も確保されており、比較的走行しやすい環境である。来訪者が輪行した際、鉄道、バスの移動、接続がしにくい環境は改善した方が良くはないか。観光施設（旅館、ホテルなど）において、自転車置き場、ラックがないところが課題。マップの作成、地域一体となった取り組みが必要と考える。
- ・ 具体的な取り組み案②にある距離、累積獲得標高はコース案の合算で良いか。
 - 良い。
- ・ 具体的な取り組み案に記載されている参加者が、目標達成を提供する考え方は企画としては良いと感じた。
 - 海、山の自然に囲まれて、急峻の地形を生かしたコース設定を売りにする企画が良い。
 - ジオパークという特性があまり表にでてこない側面もあるため、ヒスイ（提供可能な範囲で）などジオ環境を生かした特典企画を行うことで、サイクルツーリズムとジオパークを結び付ける企画とするイメージである。
- ・ PRを行う上でターゲットの設定が重要になる。ターゲットの設定する上での条件をどのように考えればよいか。従来の観光データを基にプロモーションを行うべきか。その他、参考になる観光誘客策はあるか。
 - PRを行う上では、サイクリング雑誌、情報サイトへの投稿、サイクルツーリズムイベントへの参加することでPRできる（海外イベント内で自治体紹介スペース等あり）。
 - その他、インバウンドについては、従来の観光データで記載されている親日的な国々（台湾など）というだけで決めてしまうと、かえって競合が多く、十分な誘客ができない可能性がある。直近では、東アジアに限らず、東南アジア（タイなど）に富裕層サイクリストが増えてきており、具体的なターゲットイメージを作ることが必要と考える。このようなターゲットが多くいるようなエリアに、プロモーションを行うことが今後重要になる。
- ・ サイクルツーリズムを周知、PRを行う上で良い手法は何か。
 - サイクルツーリズム、コース設定をした後はマップを作成するのが一番良い。サイクリストはマップを見ながら自分たちでコース設定を行い、グルメスポット、行き先を決めてめぐるケースが多い。そのため、マップにはサイクルコースだけでなく、ルートから外れた立ち寄り施設、お食事、グルメなど、地域情報を入れ込むことで、ツアー者楽しめる環境づくりを地域と一体でやっていくことが大切になる。
 - 糸魚川市については、例えば、酒蔵「男山」がある。試飲をすると飲酒運転となるため、サイクリングを楽しめない。お酒、温泉を楽しむため、自転車以外の公共交通移動を含めた情報提供を検討する必要があると思う。地域を巻き込んでいく仕組み、受け入れ環境を如何に作っていくかが大切になる。
- ・ 本事業を通し、地域課題、方向性の整理ができた。次年度以降は成果報告、今後の期待、提案内容を実現していくための協議を継続的に進めて欲しい。検討会等の運営、事業化に向けた取り組みを進める際、国土交通省、運輸局として支援したい。

6. まとめ

糸魚川市におけるアウトドアツーリズムの可能性は非常に高い

本業務における各種調査等より、糸魚川市の観光資源はアウトドアツーリズムへの活用可能性が高く、キラーコンテンツとなり得る資源も多数ありました。例えば、糸魚川市は世界ジオパークにも指定されているように、背後にそびえる山々から日本海へ下る急峻な地形が特徴的で、山岳観光からマリンレジャー、海の幸など非常に豊富な資源に恵まれています。特に、高浪の池周辺は、ヨーロッパにも似た景色が広がり、日本にいることを忘れてしまうかのような景色が広がります。

これら資源は他にはなかなか見られず、また、それが新幹線駅から1時間もかからない場所にあることは、糸魚川市の大きな魅力と言えます。

加えて、西方向には2021年にナショナルサイクルルートに指定された「富山湾岸サイクリングコース」があり、比較的平坦なこのルートに、ヒルクライム・ダウンヒルの要素を加えるのに適しており、また、南東方向にはグラベルで人気を博す斑尾高原があり、これら両方向を繋ぐ役割を糸魚川市が担うことで、一帯をサイクルコースとみなすような大きな構想も期待できます。このように、周辺ルート（自治体）と連携することで、双方の魅力向上に繋がり、結果として全体にプラスの作用をもたらすことが期待されます。

特に、専門家である星野氏の指摘のように、糸魚川市の地形は極めて特徴的で、これら日本を代表するルートの中でもしっかりとした立ち位置を築けるものと考えます。

具体的なターゲットの設定が必要

本業務を通じ、糸魚川市におけるアウトドアツーリズムのターゲット像が明確でないことがわかりました。

ターゲットを設定するにあたり、糸魚川市は東京や有名観光地のような超一級の資源があるわけではなく、また、あまり多くの旅行者を受け入れる許容量もありません。そのため、一見ボリュームが少なく見える層であっても、糸魚川市にとっては十分な効果が見込まれ、訴求できる可能性はあると考えます。

また、一般に「欧米豪からの旅行者は滞在期間が長く、消費も大きい」と言われますが、近年は中国を中心にアジア圏の経済成長は著しく、日本における高い支出も確認されています。つまり、必ずしも欧米豪をターゲットとすることだけが正解ではなくなっている現状が垣間見れます。

このようなことから、ターゲット設定にあたっては、国籍・ボリューム・ニーズといった旧来の考え方ではなく、「どんな趣味嗜好・考えを持った人に糸魚川市に来てもらいたいのか」を具体化することから始めてもいいように思います。



糸魚川市において、今後アウトドアツーリズムを推進していく上で、以下の３つを提案します。

- ①世界ジオパークの特徴的な地形や景色、海の幸を中心とした食の資源などを総動員し、他との差別化を図れるよう取り組んでいくことが必要と考えます。

また、市内のみならず、周辺ルート（自治体）とも連携することで、新潟県西部から富山県一帯の魅力がさらに向上することが期待されます。

- ②糸魚川市が求める旅行者像（ターゲット）をしっかりと見定め、そのターゲットに的確に訴求する情報発信を行うことで、糸魚川市の魅力に触れてもらう機会を増やしていくことが必要と考えます。

- ③ハード整備を行う際には専門家や旅行者の意見を踏まえつつ、時間をかけつつもしっかりと着実に整備していくことが必要と考えます。